

タイ王国  
「東南アジア気候変動緩和・  
適応能力強化プロジェクト」  
中間レビュー調査報告書

平成 27 年 3 月  
(2015 年)

独立行政法人国際協力機構  
地球環境部

環 境
J R
15-045

タイ王国  
「東南アジア気候変動緩和・  
適応能力強化プロジェクト」  
中間レビュー調査報告書

平成 27 年 3 月  
(2015 年)

独立行政法人国際協力機構  
地球環境部

# 目 次

目 次  
写 真  
略語表

中間レビュー結果要約表（和文・英文）

第1章 中間レビュー調査の概要	1
1-1 調査の経緯と目的	1
1-2 調査団構成	2
1-3 調査の基本方針	3
1-4 調査日程	3
1-5 主要面談者	4
第2章 プロジェクトの実績	6
2-1 プロジェクトの投入実績	6
2-1-1 日本側	6
2-1-2 タイ側	7
2-2 プロジェクト成果の進捗状況	8
2-3 プロジェクト目標の達成可能性	11
2-3 プロジェクトの実施プロセス	12
第3章 5項目評価に基づく評価結果	14
3-1 妥当性	14
3-2 有効性（見込み）	15
3-3 効率性	15
3-4 インパクト（見込み）	16
3-5 持続性（見込み）	16
第4章 結論と提言	18
4-1 結 論	18
4-2 提 言	18
4-3 団長所感	18
付属資料	
1. 署名済み協議議事録（M/M）	23
2. 収集資料リスト	56
3. 評価グリッド（和文・英文）、質問票（和文・英文）	57

写

真



タイ国温室効果ガス管理機構（TGO）事務所内にある気候変動国際技術研修センター（CITC）の看板



CITC 内の最大の研修室（80 名以上が受講可能）



CITC プロジェクト事務所兼専門家の執務室



TGO/CITC の図書館



TGO が作成した広報用のオリジナル低炭素バッグ（研修イベントなどで配布される）



供与した機材（ビデオカメラ）は研修や広報活動に使用されている。





CITC の能力構築アウトリーチチームの  
カウンターパート（C/P）



CITC の広報担当者  
（CITC ロゴ入りのポロシャツを着ている）



タイ国自治体協会（NMT）とプロジェクトチー  
ムの研修計画打合せ



CITC 会議室において合同評価報告書について、  
TGO 側との協議



TGO 局長と調査団団長による  
合同評価報告書ミニッツ（M/M）への署名



M/M 署名後プロジェクト関係者と  
調査団の集合写真

## 略 語 表

略 語	正式表記	和 文
AIT	Asian Institute of Technology	アジア工科大学
ASEAN	Association of South-East Asian Nations	東南アジア諸国連合
BP	Business Plan	ビジネスプラン
CDM	Clean Development Mechanism	クリーン開発メカニズム
CITC	Climate Change International Technical and Training Center	気候変動国際技術研修センター
COP	Conference of Parties	(気候変動枠組条約) 締約国会議
C/P	Counterpart	カウンターパート
DNA	Designated National Authority	指定国家機関
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
IGES	Institute for Global Environment Strategies	地球環境戦略研究機関
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JGSEE-KMUTT	Joint Graduate School of Energy and Environment- King Mongkut University of Technology Thonburi	タイ・エネルギー及び環境大学院連 合ーキングモットク大学
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
LoCARNet	Low Carbon Asia Research Network	低炭素アジア研究ネットワーク
LCS	Low Carbon Society	低炭素社会
MM	Man –Months	人月
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ、協議議事録（調査団にお ける先方政府との合意文書）
MONRE	Ministry of Natural Resource and Environment	天然資源・環境省
MRV	Measuring, Reporting and Verification	(温室効果ガスの) 測定・報告・検証
NAMA	Nationally Appropriate Mitigation Actions	国として適切な緩和行動
NCCC	National Committee on Climate Change	国家気候変動委員会
NMT	The National Municipality League of Thailand	タイ国自治体協会
ONEP	Office of Natural Resources and Environmental Policy and Planning	環境政策計画局（天然資源・環境省）
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリッ クス
PR	Public Relations	広報活動
TGO	Thailand Greenhouse Gas Management Organization	タイ国温室効果ガス管理機構

THB	Thai Baht	タイバーツ（通貨単位）
TNA	Training Needs Assessment	研修ニーズアセスメント
TTT	Training the Trainers	指導者研修
UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change	国連気候変動枠組条約
WGIA	Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries	東南アジア諸国連合国内温室効果ガスインベントリワークショップ

## 中間レビュー結果要約表

1. 案件の概要		
国名：タイ王国		案件名：東南アジア地域気候変動緩和・適応能力強化プロジェクト
分野：環境管理		援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：地球環境部環境管理第一チーム		協力金額：総額約 3 億 6,000 万円
協力期間	2013 年 6 月～ 2016 年 5 月（3 年間）	先方関係機関：タイ国温室効果ガス管理機構（TGO）

1－1 協力の背景と概要

インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ及びベトナムの ASEAN 開発途上国では、気候変動の課題に直面している。これらの国々では、急速な経済成長を遂げているにもかかわらず、気候変動に取り組み効果的で時宜にかなった活動を実施するために能力開発と支援に対するニーズが著しく高い。

地域及び国際レベルで集団的に気候変動対策に取り組むために、タイ王国（以下、「タイ」と記す）タイと ASEAN 開発途上国は更なる能力開発が必要であることが認められ、タイ国温室効果ガス管理機構（Thailand Greenhouse Gas Management Organization：TGO）は、ASEAN 諸国及び他の関係国のために、気候変動分野の人材育成「ワンストップ研修センター」として気候変動国際技術研修センター（Climate Change International Technical and Training Center：CITC）の設立を提案した。

2011 年 8 月にタイで開催された、ASEAN 諸国を対象とした「温室効果ガス緩和と低炭素社会」という会議で、気候変動に関する人材育成の重要性と研修センターに関する提案について協議され確認された。

このような背景により、タイのみならず他の ASEAN 諸国の気候変動の緩和 / 適応に関する人材育成を行うため、タイは CITC 設立の支援をわが国に要請した。

1－2 協力内容

（1）プロジェクト目標：タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。

（2）成果

1. TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立の準備がなされる。

2. TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。

3. 緩和 / 適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国のなかで共有される。

1－3 投入（中間評価時点まで）

<日本側>

専門家派遣人数

: 短期；9 名〔計 36.5 人月（MM）〕長期；1 名（計 17MM）

供与機材

: 6 種類（テレビモニターセット、スキャナー等）93 万 2,000 円

在外事業強化費

: THB 489 万 5,375

本邦研修受入人数

: 15 名





- ・活動 1-5 : CITC の目的、任務、研修カリキュラム及び日程の情報、さらに、気候変動の緩和 / 適応等に関する知識を普及するためのポータルサイトとして、CITC は公式なウェブサイトを確認した。
- ・TGO と JICA 専門家チームは「緩和メカニズム」と「気候変動ファイナンス」について、カリキュラム開発を開始することにも合意した。

指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは以下のとおりである。

指 標	進捗・見込み
1-1 CITC の組織図、綱領、配分される予算が CITC の文書に記載される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BP には CITC の戦略、重要なサービス及びマーケティング計画についての分析が含まれる予定であり、C/P と JICA 専門家によって最終化される。BP には CITC の体制と任務が定義されている。予算の課題についても CITC のマーケティング計画に沿って分析されている。BP の枠組みは 2015 年 2 月に行われる第 3 回 JCC で承認されることが期待されており、さらに BP の財務分析は継続される予定である。</li> <li>・CITC のウェブサイトは既に開設されて情報発信が始まり、CITC の関係者に対してアドレスが発表された。学問的内容は最終化されないままウェブサイトにアップロードされ、全体的構成やさまざまなフォーマットに関する課題はまだ協議中である。</li> <li>・2 種類の研修教材、すなわち①「LCS（地方政府の実務者対象）」に関する教科書とパワーポイント発表教材（英語及びタイ語）、②「GHG インベントリ管理（中央政府の実務者対象）」指導者マニュアル（英語）が作成された。</li> <li>・TGO と JICA 専門家チームは、「緩和メカニズム」及び「気候変動ファイナンス」について、カリキュラム開発を開始することにも合意した。</li> </ul>
1-2 ウェブサイトによる情報伝達するための知識プラットフォームが確立される。	
1-3 開発されたカリキュラム（タイ語及び英語）が選択された研修コースについて作成される。	

## （2）アウトプット 2

成果 2. TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。

### ＜活動の進捗・達成＞

- ・活動 2-1 : 「GHG インベントリ管理コース（タイ中央政府実務者対象）」の研修は、業務委託されたチェンマイ大学によって 2014 年 8 月に実施された。さらに、「LCS レジリエ

ントコース（地方実務者対象）」の研修もプロジェクト（CITC と JICA 専門家チーム）により、2014 年 12 月に実施された。「LCS レジリエントコース（地方実務者対象）」研修参加者へのインタビュー結果によると、コースのデザインについていくつか改善の余地がある（対象者、重点項目）ことが示された。

- ・活動 2-2：活動 2-1 に基づき、2 つの指導者研修（TTT）プログラムが開発され、これらの主要研修プログラムに続いて実施された。さらに、2 つの本邦研修プログラムが行われた。第 1 回目は TGO から 9 名の研修生を受け入れ 2013 年 12 月に実施され、第 2 回は TGO 及び関係機関から 6 名を受け入れ 2014 年 1 月に行われた。

指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは以下のとおりである。

指 標	進捗・見込み
2-1 選択されたコースのために指導員が育成される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計 24 名の指導員が、2014 年 8 月実施の「タイ中央政府実務者対象のための GHG インベントリ管理コース」及び同年 12 月の「地方実務者のための LCS レジリエントコース」の TTT コースによって育成された。各コースの指導員育成数は前者が 15 名、後者は 9 名であった。</li> <li>・2014 年 12 月下旬に「地方実務者のための LCS レジリエントコース」とその TTT コースについて評価調査が実施された。その結果 70%以上の研修生が各コース研修に満足（80%の評価点）したことを示した。一方では、研修参加者からのコメントで、研修デザイン（対象者、研修の重点項目）や研修管理に多少改善の余地があることが指摘された。</li> </ul>
2-2 少なくとも受講者の 70%（80%の評価点で）が研修内容に満足する。	

### （3）アウトプット 3

成果 3．緩和 / 適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国のなかで共有される。

#### ＜活動の進捗・達成＞

- ・活動 3-1：「緩和メカニズム」コースに関して TGO と JICA 専門家チームが協議を開始した。
- ・活動 3-2：プロジェクトは ASEAN 諸国と共に学問的知識を共有するためのワークショップを 2 回開催した。第 1 回目は CITC の紹介と LCS についての能力開発のための TNA を行い、第 2 回目は、東南アジア諸国連国内温室効果ガスインベントリワークショップ（Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries : WGIA）のサイドイベントとして GHG インベントリのための TNA を行った。

指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは以下のとおりである。

指 標	進捗・見込み
3-1 ASEAN 開発途上諸国向けに実施されたセミナー・ワークショップ・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ASEAN 諸国向けのワークショップを2回実施した。</li> <li>① 2014年5月に TNA ASEAN ワークショップを CITC が実施した。8カ国の ASEAN 諸国（ベトナム、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン及びタイ）から合計117名が参加した。</li> <li>② 2014年8月に ASEAN 関係者が参加した WGIA のサイドイベントとして、GHG インベントリワークショップを開催した。</li> <li>・ CITC の研修プログラム概要を含む情報が、日本や東南アジア諸国（タイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール及びベトナム）に、2014年12月の COP20 のサイドイベント等、さまざまなイベントやセミナーで共有された。</li> </ul>

#### （5）プロジェクト目標

本プロジェクト目標：タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。

プロジェクト目標達成に向けて、以下のとおり2つの指標が評価される。

1. 「CITC のための研修管理、知的貢献、ロジスティクスシステムが構築される。」という指標の達成に向けて努力が続けられている。組織的体系や CITC の各部署の役割及び研修管理活動については CITC の BP の中で明らかにされた。しかしながら、BP を実施するために予算や人的資源の確保が必要であることが認められている。
2. 「研修プログラム開発及び実施のために関係機関との協力が持続する。」は下記の表に要約されているとおり、タイの国内外でのネットワークを通じて成功裏に実施されている。

中間レビュー時点の指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは以下のとおりである。

指 標	進捗・見込み
1. CITC のための研修管理、知的貢献、ロジスティクスシステムが構築される。	組織体系や CTIC 内各部署の役割及び研修管理活動を含む管理システム概要が CITC の

2. 研修プログラム開発及び実施のために  
関係機関との協力が持続する。

BP に明記された。BP には主要なサービスやマーケティング計画と戦略の分析も含まれる予定で、これらについては検討中である。

- ・TGO 職員の研修管理技術（ロジスティクスやコース設計を含む）については、残されたプロジェクト期間内に更なる改善が期待される。
- ・タイ国内の関係機関との協力は、緊密な調整と研修ピアレビューのための技術的な下部委員会といったタイ国内のさまざまな研修に関する内部会議への参加を通じて維持され強化されている。
- ・国際組織とのネットワークは、プロジェクトの開始により、さまざまな気候変動に関するタイ国内及び国外の国際会議やイベントの開催あるいは参加を通じて、めざましく強化された。ASEAN 諸国及び日本の組織、特に政府部門や学術 / 研究機関からのネットワークは、著しく強化された。
- ・プロジェクトは上記の組織から、研修プログラムや教材開発の開発という点で技術的な助言を受けた。

### 3-2 評価結果の要約

評価 5 項目による評価結果は下記の整理のとおり。その評価は、高い順から「大変高い」、「高い」、「中程度」、「低い」、「大変低い」である。

#### (1) 妥当性：大変高い

##### 1) 必要性及びタイの政策との整合性

- ・本プロジェクトは、気候変動の緩和と適応のための能力開発に関連する現行のタイ政府の政策や戦略と整合している。「第 11 次国家経済社会開発計画 2012 ～ 2016 年」では、GHG の緩和、クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism : CDM）、LCS 及び持続的開発が、第 8 章 3 節に明確に記載されている。さらに、「タイ国気候変動マスタープラン 2014 ～ 2050 年」には 3 つの主要戦略、すなわち「気候変動に対する適応」、「GHG 排出の削減と低炭素成長の促進」及び「気候変動管理のための能力構築」が設定されている。
- ・急速な経済成長と GHG 緩和活動の実施について高い潜在性があるにもかかわらず、ASEAN 開発途上国では効果的な気候変動対策の能力開発と支援をいまだに相当必要とする。CITC は主に ASEAN 開発途上国に対して、研修生への有効で適時に有益な知識を提供するために、「ワンストップ」研修センターとして設計されている。

##### 2) 日本のタイに対する ODA 戦略との整合性

- ・プロジェクトは日本の「タイ王国 国別援助方針（2012 年）」にも整合している。援



助政策の優先分野は、競争力強化を通じた経済成長への取り組み、環境や気候変動のような重要な国内課題を含んでいる。また、「ASEAN 域内共通課題への対応」が優先分野のひとつに挙げられている。

- ・2014 年 9 月の国連総会において、日本の首相は今後 3 年間に気候変動分野で 14,000 人の人的資源開発を支援することを公約した。

### 3) ASEAN 諸国の政策との整合性

- ・CITC の任務（能力開発、気候変動緩和 / 適応に関する情報の共有）は、「ASEAN 共同体ロードマップ（2009 ～ 2015 年）」にある「ASEAN の社会－文化共同体詳細計画方針の戦略目標<sup>(10)</sup>：気候変動への対応と、その影響に取り組むこと」と整合性が大変高く、そのなかで「平等、柔軟性、有効性、共通ではあるが異なる責任、それぞれの能力、また異なる社会及び経済状況を反映させる原則に基づき、緩和と適応策の実施を通じて ASEAN 諸国において気候変動の課題とその社会経済開発、保健や環境への影響に取り組むため地域内及び国際協力を強化する」と述べている。

### 4) 手段の適切性

- ・研修カリキュラムは、タイ国内外のさまざまなターゲットグループを含むニーズ調査や参加型ワークショップに基づき開発された。しかしながら、C/P と JICA 専門家へのインタビューから、研修コースのニーズ設定を更に特定化する必要があるという指摘があった。また、ニーズ調査には一層の準備が必要であり、ニーズ調査の結果はカリキュラムの設定に十分反映されるべきであるとの指摘もなされた。
- ・プロジェクトは、複数の関係者と研修コースの開発と実施を通じて、特にタイ国内、他の ASEAN 諸国及び日本の大学や学術研究機関との人材ネットワークを強化する支援に努めている。

## (2) 有効性（予測）：高い

### 1) プロジェクト目標達成の見込み

- ・ほとんどの各成果の指標は計画どおりに達成されつつある。本プロジェクト目標の「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。」を達成するためには、BP を運営できるように予算や人材を確保することの必要性が認められる。GHG 情報センターのような TGO の他の部局から本邦研修に参加した数名の職員は、CITC の研修カリキュラム作成にも協力し、キャパシティ・ビルディングチームの能力開発に貢献している。
- ・プロジェクト目標を完全に達成するためには、いくつかの課題が残されている。インタビューの結果から、研修コース設定（対象グループ、重点課題）と研修管理のような研修コースの計画 / 実施について改善の余地があることが提案された。これまでのところ、プロジェクトによる研修コースは 1 サイクル実施されたにすぎず、研修コースの計画 / 実施について更なる経験が C/P にとっては必要である。さらに、BP の詳細化には研修コースの計画 / 実施について、能力開発と一致して実行される必要がある。
- ・顧客のニーズ変化や状況の変化により良く対応するため、自らが進路を決められるよう、CITC の能力開発に対する更なる努力が必要である。

### 2) 成果からプロジェクト目標への外部条件の状況

- ・プロジェクト目標を達成するためプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）の外部要件に関して、BP を運営できるように予算や人材を確保することの必要性が認め

られる。更に、戦略的なパートナーシップを構築することの重要性も認められる。

(3) 効率性：中程度から高い

1) 投入の状況：タイミング、質・量

- ・気候変動に関する学術的知識や最新情報はさまざまな研究機関（地球環境戦略研究機関：IGES のような）と共有されており、プロジェクトはタイ国内だけでなく、ASEAN 諸国及び日本とも広範囲なネットワークと協力を行ってきた。
- ・TGO のニーズや気候変動に関する課題の国際的傾向により、研修プログラムの内容やコースはプロジェクトによって柔軟に変更されてきており、これが研修プログラムの効率的な管理に貢献した。
- ・プロジェクトは予定どおり目標を達成してきている。しかしながら、いくつか満たされていない点がある。そこで、以下のとおりの更なる取り組みが提案される。
- ・C/P からの質問票への回答によると、プロジェクト活動体制を更に改善することに関連して、C/P と JICA 専門家のコミュニケーションをより改善させる必要があることが指摘された。
- ・プロジェクトは研修管理及び広報活動のために、いくつかの機材を供与してきた。大半の機材は C/P によって頻繁に活用されていることが認められた。機材の利用状況を更に向上させるため、一層の調整が行われるよう提言される。

(4) インパクト（見込み）：中程度

1) 上位目標に関するインパクト

プロジェクトの上位目標：CITC が ASEAN 地域の気候変動研修に関して研修センターとして認知され、ネットワーキングの基礎（プラットフォーム）として機能する。

- ・プロジェクトは、ワークショップを通じて ASEAN 諸国及び ASEAN 事務局とネットワーク構築を始めており、さらに、ASEAN の関係者のために研修プログラム開発するための協議が、中間レビュー時点で行われている。
- ・能力開発は国連気候変動枠組条約（UNFCCC）進展において重要な一つの要素であり、プロジェクトは CITC の国際的な認知を高めることに着手し始めており、更に促進されることが期待されている。

2) 波及効果、持続性への可能性等

- ・天然資源・環境省（MONRE）の大臣は、2014 年 12 月の気候変動枠組条約第 20 回締約国会議（COP20）において、タイの GHG 緩和目標（2020 年までに 2,000 万 t 減）を発表した。プロジェクトは、TGO と密接な関係者の能力を強化することにより、「国としての適切な緩和行動（NAMA）」と「(温室効果ガスの) 測定・報告・検証（MRV）」過程の実施促進が容易になることも期待している。

(5) 持続性（見込み）：中程度から高い

1) 技術面

- ・多少の学問的知識は日本の専門家からタイの C/P に移転された。知識の移転は研修教材の開発、研修やワークショップの準備と運営、本邦研修への参加を通じて成功裏に行われてきた。
- ・これらの知識や技術が、タイ国内外及び低炭素アジア研究ネットワーク（LoCARNet）

のようにさまざまな研究機関と構築されたネットワークによって持続し更新されることが期待される。

- ・タイ国内のいくつかの研究機関との関係も、研修教材やプログラム開発のために持続すると思われる。
- ・プロジェクトの持続性を更に高めるため、UNFCCC 及びその他の公開討論会において状況の変化や新しい議題に注意し、潜在的な顧客の進化するニーズに応えるための努力と更なる配慮が提案される。

## 2) 組織・財政面

- ・CITC BP を運営できるよう予算と人材の確保が必要であることが確認された。CITC の運営は TGO と MONRE が政策の方向性について十分な調整がなされていることを保証するため、更なる取り組みが提案される。さらに、タイ国内及び国外の関係組織 / 関係者との戦略的協力が、CITC 活動を持続するために重要となるだろう。

## 3-3 結 論

- ・プロジェクトの各成果のレベルにおいて、PDM 指標に照らし、BP の策定、研修やワークショップの実施を通じた TGO スタッフの能力強化やタイ国内外とのネットワークの強化など、おおむね順調な活動進捗が確認された。
- ・他方、BP (ドラフト) に示されている人員の配置が実際には困難であること、まだ CITC の活動の多く (教材の作成や一部の研修の実施) が外部機関への委託というかたちで行われざるを得ないという現状も確認されている。プロジェクト目標である「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。」ことを達成するために、以下の提言を行う。

## 3-4 提 言

- ・CITC の運営に必要な予算と人員の確保に加え、予算・人員等のリソースに応じ、必要に応じて BP の見直しを行っていくことが求められる。CITC の活動・運営が、TGO や MONRE の政策の方向性と合致することが、CITC の持続性を高めるうえで重要となる。
- ・UNFCCC やその他の国際的な動向を踏まえ、変遷していく CITC プログラムの対象者の能力強化ニーズに対応していく必要がある。外部機関とのネットワーク構築においては、対象者の能力強化ニーズと、支援する側のリソースのマッチングという観点で、ターゲットを明確にしていくことが重要と考えられる。加えて (TGO 側から提起された課題として) 国内、地方レベルにおいて、気候変動対策に係る理解・意識を向上させていくための啓発活動を行っていく必要がある。
- ・今後計画されている研修の計画・実施を通じ、研修コースの設計・マネジメントに係る改善・能力強化が求められる。また、TGO 関係者と日本人専門家チームとの間で更にスムーズな意思疎通を行っていくよう更に配慮していく必要がある。

## 中間レビュー結果要約表（英文）

1. Outline of the Project	
Country: Kingdom of Thailand	Project Title: Project for Capacity Development on Climate Change Mitigation/Adaptation in the Southeast Asia Region
Issue/sector: Environmental Management	Cooperation Scheme: Technical Cooperation
Division in Charge: Environmental Management Team 1, Global Environmental Department	Total Cost: About JPY330 Million (planned)
Period of Cooperation: June 2013 to May 2016 (3 years)	Partner Country's Implementing Organization: Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
	Supporting Organization in Japan: Oriental Consultants Global Pacific Consultants, CO.,LTD. Institute for Global Environment Strategies(IGES) Other Related Organization:
<p><b>1-1. Background of the Project</b></p> <p>The developing countries in Southeast Asia Region, namely Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Thailand and Vietnam (Association of South-East Asian Nations: ASEAN developing countries), face challenges of climate change. Despite their rapid economic growth, ASEAN developing countries still significantly require capacity development and assistance to address climate change and implement related activities effectively and in a timely manner.</p> <p>Recognizing the need to further develop capacity of Thailand and ASEAN developing countries to collectively address climate change at the regional and international levels, TGO proposed to establish the Climate Change International Technical and Training Center (CITC) for capacity development on climate change as a “one stop training center” for ASEAN and other interested countries.</p> <p>The proposal and its importance were discussed and acknowledged among representatives of ASEAN developing countries at the “ASEAN Meeting on Greenhouse Gas (GHG) Mitigation and Low Carbon Society (LCS)” in August 2011 in Thailand.</p> <p>With this background, Thailand requested Japan for technical assistance to enhance CITC in order for the capacity development on climate change mitigation/adaptation not only for Thailand but also for other ASEAN countries.</p> <p><b>1-2. Project Overview</b></p> <p><b>(1) Project Purpose:</b></p> <p>Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries</p>	

## (2) Outputs

**Output 1:** CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organization.

**Output 2:** Trainings of Mitigation/Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.

**Output 3:** Capacity development program on Mitigation/Adaptation are shared among ASEAN countries.

## (3) Inputs (as of the time of evaluation)

### Japanese side:

Number of experts dispatched: 9 Short term Total 36.5 MM

1 Long term Total 17.0 MM

Equipment provided: 6 kinds of equipment (TV monitor sets, scanner and so on)

JPY 932,000

Local Operation Cost : THB 4,895,375

Number of trainees dispatched in Japan: 15

### Thai side:

Number of Counterparts (C/Ps): 20

Local Operation Cost: THB16,177,275.39

Office space for the Project: Project office at TGO

## 2. Evaluation Team

### <Member>

Leader	Mr. Yutaka FUKASE	January 12-16, 2015	Director, Environmental Management Team1, Global Environmental Department, JICA
Climate Change Measures	Dr. Masato KAWANISHI	January 12-16, 2015	Senior Advisor, JICA
Project Management	Mr. Yukichi USUI	January 11-16, 2015	Deputy Director, Office for Climate Change and Environmental Management Group, Global Environmental Department, JICA
Evaluation Analysis	Ms. Jun KAKINUMA	January 4-17, 2015	Consultant, Earth and Human Corporation

Duration of the study; January 4- 17, 2015: Type of Evaluation: Mid-term Review

## 3. Results of Evaluation

### 3-1. Achievements

#### 3-1-1. Outputs

**(1) Output 1 : “CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations”**

### <Progress on Activity Basis>

· Activity 1-1: The CITC Business Plan (BP) was revised by TGO and JICA expert team, which was approved



by the first Joint Coordination Committee (JCC, 6th of September, 2013) and shared among the stakeholders at the 2nd JCC (21st of July, 2014). The final version of the BP is under discussion at the time of Mid-term Review.

- Activity 1-2: Training Needs Assessment (TNA) participatory workshops and questionnaire surveys were conducted on ‘GHG inventory topic’ for Thai central government implementers and ASEAN stakeholders. Regarding ‘LCS development topic’, several workshops were conducted for Thai local government practitioners and executives, and also for ASEAN stakeholders. Several workshops were conducted by local institutes such as The National Municipality League of Thailand (NMT).
- Based on the result of the above activity, TGO and the JICA expert team discussed with resource personnel located in and outside of Thailand in relation to Activity 1-3.
- Activity 1-4 Training programs and materials for “GHG Inventory Management for central government implementers” were developed by a group of Thai national institutes such as Chiang Mai University, and reviewed under collaboration with TGO and the JICA expert team. “Development for local leaders” and “LCS for local practitioners” were prepared by TGO, JICA Expert Team and Thai local consultants such as Asian Institute of Technology (AIT) and Joint Graduate School of Energy and Environment- King Mongkut University of Technology Thonburi (JGSEE-KMUTT).
- Activity 1-5: CITC has established its official website as a portal for dissemination of information about objectives, mission, training curriculum and schedule of CITC, and also knowledge on mitigation/adaptation for climate change and so on.
- TGO and the JICA expert team have also agreed to start developing curriculums for ‘Mitigation Mechanism’ and ‘Climate Finance’.

Progress and prospect as compared with planned indicator is as follow:

Indicators	Progress and Prospect
1-1 Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document.	<ul style="list-style-type: none"> <li>- The BP will contain analysis on strategy, key services, and marketing plan of CITC which is to be finalized by C/P and JICA experts. The structure and mission are defined within the BP. Budget issue has been also analyzed in line with CITC marketing plan. It is expected that the outline of BP to be approved by the 3rd JCC in February 2015, and financial analysis of BP will be continued.</li> <li>- CITC website has been already established and launched, and the web address was announced to related stakeholders. Knowledge contents are yet to be finalized and uploaded to the website and overall structure and subjects in various format are still under discussion.</li> <li>- Two training materials 1)Textbook and Power point presentation materials for “LCS for local practitioners” (English and Thai translation), 2) Trainers manual for “GHG Inventory Management for central government implementers” (English translation) were prepared.</li> </ul>

	- TGO and the JICA expert team have also agreed to start developing curriculums for 'Mitigation Mechanism' and 'Climate Finance'.
--	---

**(2) Output 2: Trainings of Mitigation/Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.**

**<Progress on Activity Basis>**

- Activity 2-1: "GHG inventory Management for central government implementers" training course was conducted by sub-contracted Chiang Mai University in August 2014. Also "Low Carbon Resilience Society for Local Practitioners" course was conducted by the Project (CITC and JICA team) in December 2014. Meanwhile, the results of the interview with participants of the "Low Carbon Resilience Society for Local Practitioners" course have shown that there is some room for improvement regarding the design of the course (target groups, focus of topics, etc.).
- Activity 2-2, based on the Activity 2-1: Two training the trainers (TTT) programs were developed and conducted following those main training programs. In addition, two training programs were conducted in Japan. The first program received 9 participants from TGO in December 2013, and the second one received 6 participants from TGO and related agencies in January 2014.

Progress and prospect based on the planned indicator is summarized below.

Indicators	Progress and Prospect
2-1 Trainers are developed for selected courses.	<ul style="list-style-type: none"> <li>- In total 24 trainers were trained by TTT courses on "GHG Inventory Management for central government" in August 2014 and "Low Carbon Resilience Society for local practitioners" in December 2014. The numbers of trained trainers were 15 and 9 respectively.</li> <li>- Evaluation surveys for training courses on "Low Carbon Resilience Society Development "and TTT were held in late December 2014. The results showed that more than 70% of trainees were satisfied (80% evaluation score) with each course. On the other hand, comments by the participants indicated that there are some room for improvement regarding the course designs (target groups, focus of training topics) and training management.</li> </ul>
2-2 At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents.	

**(3) Output 3: Capacity development program on mitigation/adaptation are shared among ASEAN countries.**

**<Progress on Activity Basis>**

- Activity 3-1 has been started through discussions on "Mitigation Mechanisms" courses by TGO and JICA Expert Team.
- Activity 3-2: The Project organized two workshops to share knowledge with ASEAN countries. The first

one was conducted for introduction of CITC and TNA for capacity development on LCS, and the second one was for TNA on GHG inventory as a side event of the Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries (WGIA).

Progress and prospect based on the planned indicator is summarized below.

Indicators	Progress and Prospect
3-1 Seminar/ workshop/ training is conducted for ASEAN developing countries	<p>- Two workshops were conducted for ASEAN countries:</p> <p>1) TNA ASEAN Workshop was conducted by CITC in May 2014. In total 117 participated from 8 ASEAN countries (Vietnam, Indonesia, Cambodia, Lao, Malaysia, Myanmar Philippines and Thailand).</p> <p>2) GHG inventory workshop was held as a back-to-back event with international inventory conference (WGIA), in which ASEAN stakeholders participated in August 2014.</p> <p>- CITC information including overview of training programs was shared in various other events and seminars held in Japan, Southeast Asia (Thailand, Cambodia, Indonesia, Lao, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore and Vietnam) and at the COP 20 side event in December 2014.</p>

### 3-1-2. Achievement of Project Purpose:

Project purpose is “Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries”.

There are 2 indicators to be evaluated towards fulfillment of Project Purposes:

1. The effort to achieve the indicator “Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established” is on the way. Organizational structure and role of each division under CITC as well as training management activities have been indicated in the CITC BP. However, the necessity for securing budget and human resources for operationalizing the BP is recognized.
2. “Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.” has been successfully carried out through the network in and outside of Thailand as summarized in the table below.

Progress and prospect as compared with planned indicator is as follow:

Indicators	Progress and Prospect
1. Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established.	- Overall management system including organizational structure and role of each division

	<p>under CITC as well as training management activities is indicated in the BP. The BP will also contain analysis on key services and their marketing plan and strategies, which are under consideration.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Training management skills of TGO staff (including course designs, logistics, etc.) are expected to be further improved during the remaining period of the Project.</li> <li>- Cooperation with related domestic organizations has been sustained and strengthened through close coordination and active participation in various training-related internal meetings in Thailand such as for technical sub-committee for training peer review.</li> <li>- Networks with international organizations have been significantly strengthened since the initiation of the Project, through holding or attending various types of climate change-related international conferences and events in Thailand or in other countries. Networks with organizations in ASEAN countries and Japan, especially those from government sector and academic/research institutions, have been particularly enhanced.</li> <li>- The Project has received technical advice from above-mentioned organizations in terms of training program development and training material development.</li> </ul>
--	---

### 3-2. Evaluation based on the Five Criteria (Summary)

Results of five criteria evaluation are summarized in five ratings. The highest rate is “very high”, and followed by “high”, “fair”, “low” and “very low”.

#### (1) Relevance: Very High

##### <Necessity and consistency with Thailand’s policy>

- The Project is consistent with the existent strategies and policies of Thailand related to capacity development for climate change mitigation and adaptation. Under the 11th National Economic and Social Development Plan 2012-2016, greenhouse gas mitigation, Clean Development Mechanism (CDM), LCS and sustainable development are clearly stated in Section 3, Chapter 8. Furthermore, Thailand’s Climate Change Master Plan 2014-2050 sets 3 main strategies as follows: ‘Adaptation to Climate Change’, ‘Reduction of GHG Emissions and Promotion of Low-Carbon Growth’, and ‘Capacity Building for Climate Change Management’.
- Despite the rapid economic growth and high potential in implementing GHG mitigation activities, ASEAN developing countries still significantly require capacity development and assistance to implement climate change measures effectively. CITC is designed as “one-stop training center” for mainly ASEAN developing

countries, for the purpose of providing useful knowledge for participants of CITC effectively and in a timely manner.

**<Consistency with Japan's ODA cooperation strategy with Thailand>**

- The Project is consistent with Japan's "country assistance policy for the Kingdom of Thailand" (2012). Priority areas in the policy include economic growth through enhancement of competitiveness, the environment and climate change as important domestic issues. Also, "Coping with common issues in ASEAN countries" is one of its priority areas.
- At the Plenary Session of the UN Climate Summit in September 2014, the Japanese Prime Minister pledged to assist human resource development of 14,000 people over the next three years in the area of climate change.

**<Consistency with ASEAN countries' policy>**

- CITC mission (capacity development, information sharing on climate change mitigation/adaptation) is highly consistent with Strategic Objective of ASEAN Socio-Cultural Community Blueprint Direction 10 (Responding to Climate Change and addressing its impacts) in "Roadmap for an ASEAN Community (2009-2015)", which states "Enhance regional and international cooperation to address the issue of climate change and its impacts on socio-economic development, health and the environment, in ASEAN member states through implementation of mitigation and adaptation measures, based on the principles of equity, flexibility, effectiveness, common but differentiated responsibilities, respective capabilities, as well as reflecting on different social and economic conditions.

**<Appropriateness of Means:>**

- Training curriculums have been developed based on needs assessment and participatory workshops, which have involved various target groups in and outside of Thailand. However, the interviews with C/P and JICA experts indicated that the design of training courses needs to be more targeted. It is also indicated that the needs assessments need to be better organized and those results should be better reflected in designing the curriculums.
- The Project has been trying to assist to enhance human resource network through collaboration with multiple stakeholders in development and implementation of training courses, especially with academic institutions such as universities, research institutes in Thailand, other ASEAN countries and Japan.

**(2) Effectiveness (Prediction): High**

**<Prospect to achieve the Project Purpose>**

- Most indicators of each output of the Project have been duly achieved. Meanwhile, necessity for securing budget and human resources for operationalizing the BP is recognized in order to achieve the Project Purpose, "Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries". Some officials from other offices in TGO such as the GHG information center have joined the training program in Japan, and they also collaborate with CITC for preparation of training curriculums, which contribute to the capacity development for Capacity Building team.
- Some challenges remain in order to fully achieve the Project purpose. The result of the review has suggested that there is some room for improvement in planning/implementing of training courses such as course



designs (target groups, focus of training topics) and training management. More experiences in planning/ implementing of training courses are needed for C/P because only one cycle of training course has been conducted by the Project so far. In addition, elaboration of the BP would need to be pursued in line with capacity development in training course planning/implementation.

- More effort may need to be taken on the capacity development of CITC so that it can steer itself to better adapt to the changing circumstances as well as changing need.

#### **<Situation on External Conditions from Outputs to Project Purpose>**

With regard to the important assumptions of the PDM for the achievements of the Project Purpose, necessity for securing budget and human resources for operationalizing the BP is recognized. In addition, the importance of building strategic partnership is also recognized.

#### **(3) Efficiency: Fair to High**

Efficiency of the Project is assessed fair to high at the time of Mid-Term Review.

##### **<Status of Inputs: Timing, Quality and Volume>**

- Academic knowledge and latest information about climate change were shared with the various institutes (such as Institute for Global Environment Strategies: IGES) as the Project has been collaborated with a wide range of networks in not only Thailand but also ASEAN countries as well as Japan.
- According to the needs of TGO and international trends of climate change issues, contents and courses of training programs have been changed flexibly by the Project, which contributed to the efficient management of the training programs.
- The Project has achieved the targets in a timely manner. However, there are still some gaps to be filled in. Therefore, further efforts are suggested to be taken as follows:
- The result of the questionnaire for the C/P indicated that the communication between C/P and JICA experts needs to be further improved, with respect to further improving the organization of the Project activities.
- The Project has provided a number of equipment for training management and Public Relations (PR) activities. It was observed that most equipment is used frequently by C/P. More coordination is suggested to be taken for further improvement of the utilization of the equipment.

#### **(4) Impact (Prospect): Fair to High**

##### **< Impact related to the Overall Goal>**

The Overall Goal of the Project is to “The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as network platform”.

- The Project has started to establish network with ASEAN countries as well as ASEAN Secretariat through the Workshops, and the development of training program for ASEAN stakeholders is under discussion at the time of Mid-term Review.
- While capacity development is one of the important elements under the United Nations Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) process, the Project has started to enhance international recognition on CITC, and this is expected to advance further.

##### **<Ripple Effect/Multiple Effect to be Expected and Sustainability of Effects >**

- The minister of Ministry of Natural Resource and Environment (MONRE) announced the GHG mitigation

target (20 million tons reduction by 2020) of Thailand at Conference of Parties (COP) 20 in December 2014. The Project is also expected to facilitate the promotion of implementation of Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMA) and its Measures, Reporting and Verification (MRV) process by enhancing capacities of related stakeholders.

#### **(5) Sustainability (Prospect): Fair to High**

##### **<Technical Aspect>**

- Some knowledge transfer has been made from the Japanese experts to the Thai C/P, which has been carried out in successful manners through the development of training materials, preparation and operation of trainings and workshops, participation of training programs in Japan.
- Those knowledge and technologies are expected to be sustained and updated by the established networks with various institutes in and outside Thailand such as Low Carbon Asia Research Network (LoCARNet).
- The relationships with several institutes in Thailand would be also sustained for development of training materials and programs.
- In order to enhance sustainability of the Project further, more attention is suggested to be paid to the effort to meet evolving needs of potential clients, taking account of the changes in circumstances and emerging agendas under the UNFCCC and other relevant fora.

##### **<Organizational and Budgetary Aspects>**

Necessity for securing budget and human resources for operationalizing the CITC BP is recognized. Further efforts are suggested to be taken to ensure that the operations of the CITC are well aligned with the policy directions of the MONRE and TGO. Also, strategic partnership with related organizations/stakeholders in Thailand and abroad will be important for sustaining CITC activities.

#### **3-3. Conclusion**

In general, favorable progresses are observed in each of the outputs of the Project; capacity and networks on climate change mitigation/adaptation of CITC have been developing through the process of organizing the trainings and workshops. More efforts will be needed for achieving the Project Purpose as described in the following recommendations.

#### **3-4. Recommendations**

In consideration of (a) the progress and status concerning one of the indicators at the level of the Project purpose, “systems of training management, knowledge and logistics are established” and (b) the efforts that may be taken to internalize to some extent the important assumption for connecting the Project outputs to purpose, “Thai government continues to support of the CITC by securing budget and seeks strategic partners to sustain and expand activities” ; the following recommendations are made:

##### **(1) Alignment with the policy direction of the MONRE/TGO**

The necessity to secure the allocation of budget and human resources is recognized for the implementation of the BP which is drafted. In the meantime, the feasibility of BP itself needs to be carefully examined taking account of the resource availability. In order to enhance the sustainability of the CITC, further efforts are suggested to be taken to ensure that the operations of the CITC are well aligned with the policy directions of MONRE and TGO.

**(2) Strategic response to emerging needs and agendas**

More attention is suggested to be paid to the effort to meet evolving needs of potential clients, taking account of the changes in circumstances and emerging agendas under the UNFCCC and other relevant fora. The Project has been making effort to establish national and international networking with various stakeholders/organizations regarding climate change mitigation/adaptation. Further collaboration with stakeholders to match supporting resources and assistance needs is important for sustaining the CITC activities. With this respect, the networking effort is suggested to advance in a well-targeted and strategic manner. It was also suggested by TGO side that promotion and outreach activities are essential especially for the local people in Thailand to raise their awareness on climate change issues.

Based on the results of the interviews, the following recommendations are also given for further improvement of the Project: It is expected that CITC staff will enhance capabilities in planning/implementing of training courses such as course designs and training management. Further efforts are also suggested to fill the observed gap between the views by the Japanese expert team and those by Thai C/P concerning the level of their mutual communication.

## 第1章 中間レビュー調査の概要

### 1-1 調査の経緯と目的

#### (1) プロジェクトの背景

タイ国温室効果ガス管理機構（Thailand Greenhouse Gas Management Organization：TGO）は、タイ王国（以下、「タイ」と記す）における温室効果ガス（Greenhouse Gas：GHG）排出削減のための研究・能力開発及び啓発活動のための実施機関として天然資源・環境省（Ministry of Natural Resource and Environment：MONRE）の下に設置された独立行政機関であり、低炭素化の推進や GHG 排出削減のための投資活動・排出権取引の推進、GHG 情報センターの設立、クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism：CDM）の指定国家機関（Designated National Authority：DNA）としての関係者の能力強化などを実施している。また、環境政策計画局（Office of Natural Resources and Environmental Policy and Planning：ONEP）とともに、首相府の下に設置された国家気候変動委員会（National Committee on Climate Change：NCCC）の事務局機能を担っており、国家レベルでの気候変動政策の策定・承認・評価、特に NAMA（Nationally Appropriate Mitigation Actions：国として適切な緩和行動）の推進や国家 GHG インベントリの作成、測定・報告・検証（Measuring, Reporting and Verification：MRV）システムの確立などに関わっている。他方、気候変動適応分野については、ONEP が国際交渉のフォーカルポイント及び国内での実施担当機関となっており、「タイ国気候変動マスタープラン（2011～2050年）」においては、①生活様式及び行動の変容、②生態系保全と自然との調和、③自給自足、④食料安全保障、⑤水資源管理の5つの方策が示されている。

技術協力プロジェクト「タイ王国温室効果ガスの削減に係る組織能力強化プロジェクト」（以下、「前フェーズのプロジェクト」と記す）は、TGO 職員の緩和分野における能力向上と組織力の向上を目標として2010年1月から2012年1月までの間に実施された。2011年12月に行われた終了時評価では、TGO 職員の気候変動緩和策に係る専門知識の向上、研修教材の開発、CDM プロジェクトに係る計画策定など、能力強化に関する成果が確認された。

他方で、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、ベトナム等の ASEAN 諸国においては、気候変動の影響に対する脆弱性が高く、他方で急速な経済成長を遂げており、気候変動対策（緩和策・適応策）を効果的に実施するための能力強化や支援に対するニーズが高い。上記技術協力プロジェクトの中で、TGO は ASEAN 諸国を対象とした「気候変動緩和と低炭素社会」と題する地域会合を開催し、ASEAN 各国において気候変動対策を進めるうえでの共通課題について協議を行った。その結果、ASEAN 各国における共通支援ニーズに基づく、ワンストップ研修センターとしての気候変動国際技術研修センター（Climate Change International Technical and Training Center：CITC）を TGO の中に設立することの重要性が確認された。

CITC が将来的に ASEAN 諸国における緩和策・適応策及び GHG インベントリ作成等、気候変動対策の推進に資する実践的な研修機関になるためには、TGO の研修実施機関としての更なる能力強化と ASEAN 各国との連携協調の推進が不可欠である。以上の背景から、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力を強化することを目的として、2013年6月から3年間の予定で、本協力が開始された。

## (2) プロジェクトの概要

プロジェクト名：東南アジア地域気候変動緩和・適応能力強化プロジェクト

### 1) 上位目標

気候変動国際技術研修センター（CITC）が ASEAN 地域の気候変動研修に関して研修センターとして認知され、ネットワーキングの基盤（プラットフォーム）として機能する。

### 2) プロジェクト目標

タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、タイ国温室効果ガス管理機構（TGO）の気候変動国際研修センター（CITC）のフォーカルポイントとしての能力が強化される。

### 3) 期待される成果

成果 1. TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立の準備がなされる。

成果 2. TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。

成果 3. 緩和 / 適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国のなかで共有される。

### 4) 活動の概要

#### <成果 1>

1-1 CITC の実施体制のフレームワークを設立する。

1-2 タイ国内の政府機関、民間、ASEAN の関係者を対象としたニーズ評価を行う。

1-3 タイ、ASEAN 諸国の関係者と調整を行い、研修に必要なリソースを明確化する。

1-4 研修テーマごとに、タイ関係者、または国外の関係者と共に教材を開発する。

1-5 低炭素社会に関する情報プラットフォーム、ウェブサイトの開発を通じて情報管理システムを強化する。

#### <成果 2>

2-1 異なるレベルの研修を実施する。基礎コースは中央・地方の政府関係者及び民間関係者を対象とする。

2-2 TTT（指導者研修）を含む応用的な研修及び各特定分野の実務者を対象とした専門的・実用的な研修を行う。

#### <成果 3>

3-1 ニーズ評価に基づき、ASEAN 諸国向けの研修コースを開発する。

3-2 ASEAN 諸国政府の気候変動対策担当者と知見を共有するためのワークショップを開催する。

## 1-2 調査団構成

調査団の構成は以下のとおり。

役 割	氏 名	所 属	派遣期間
団長／総括	深瀬 豊	JICA 地球環境部環境管理第一チーム 課長	2015 年 1 月 12 ～ 16 日
気候変動対策	川西 正人	JICA 国際協力専門員	2015 年 1 月 12 ～ 16 日



協力企画	碓井 祐吉	JICA 地球環境部気候変動対策室兼環境管理グループ	2015 年 1 月 11 ～ 16 日
評価分析	柿沼 潤	株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション	2015 年 1 月 4 ～ 17 日

### 1-3 調査の基本方針

- ① プロジェクトの現在までの活動の進捗・投入実績、プロジェクト目標や成果の達成状況を確認するとともに目標を達成するため残りの期間で対応すべき課題を抽出し、提言を行う。
- ② プロジェクトの進捗や実施プロセスの評価を行う（評価グリッドは付属資料 3 のとおり）。
- ③ プロジェクト活動の今後の方向性に関して提言を行う。
- ④ 上記の内容を中間レビュー調査報告書に取りまとめ、カウンターパート（C/P）機関と内容を協議し、ミニッツ（M/M）にて合意する。

### 1-4 調査日程

現地調査は 2015 年 1 月 4 日から 1 月 17 日までの期間で実施された。調査日程の概要は以下のとおりである。

月日(曜日)	行 程
1 月 4 日(日)	成田発（10：30）バンコク到着（15：45, TG641） （コンサルタント団員）
1 月 5 日(月)	プロジェクト専門家（グループ）及びタイ国温室効果ガス管理機構（TGO） C/P へのインタビュー、関連情報・資料収集
1 月 6 日(火)	TGO C/P（能力構築アウトリーチチームの長及び職員等）へのインタビュー
1 月 7 日(水)	供与機材と CITC 施設の確認 プロジェクト専門家（個別）、TGO 局長及び協力機関関係者へのインタビュー
1 月 8 日(木)	プロジェクト関係者〔アジア工科大学（Asian Institute of Technology：AIT）等 大学及び協力団体〕へのインタビュー
1 月 9 日(金)	TGO の本邦研修参加者へのインタビュー
1 月 10 日(土)	合同評価報告書案作成
1 月 11 日(日)	合同評価報告書案作成 専門家へのインタビュー （碓井団員 バンコク到着 16：00, JL031） 団内打合せ
1 月 12 日(月)	合同評価報告書案作成に関する打合せ 専門家へのインタビュー （深瀬団長 バンコク到着 16：00, JL031） （川西団員 バンコク到着 16：35, TG434） 団内打合せ
1 月 13 日(火)	合同評価報告書案作成に関する団内打合せ及び修正

1 月 14 日 (水)	TGO と合同評価報告書案作成に関する協議 合同評価報告書案の修正
1 月 15 日 (木)	合同評価報告書への署名及び専門家との打合せ 環境政策計画局 (ONEP) へインタビュー JICA タイ事務所に報告
1 月 16 日 (金)	(川西団員 バンコク発 08 : 20, TG433) (深瀬団長、碓井団員 バンコク発 09 : 55, JL032) 和文報告書案作成 (コンサルタント団員 バンコク発 22 : 35, TG640)
1 月 17 日 (土)	帰国 (成田着 06 : 10)

## 1-5 主要面談者

主要面談者は以下のとおりである。

Name	Organization
Mrs. Prasertsuk Chamornmarn	Executive Director, Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
Dr. Natarika Wayuparb	Deputy Executive Director, TGO
Dr. Jakkanit Kanamura	Director, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Natechanan Wathanachinda	Assistant Senior Official, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Natteera Kabjjawatkul	Official, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Benya Nuengdee	Official, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Nereerat Thanakasem	Assistant Senior Official, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Apapatch Hunsirtrakun	Official, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Ms. Chayathorn Thanawattanadamrong	Project Coordinator, Capacity Building and Outreach Office, CITC, TGO
Dr. Vilas Nitivattananon	Associate Professor, AIT
Mr. Vijai Amaralikit	President of the Environment Sub-Committee, The National Municipality League of Thailand
Ms. Tharee Kamuang	Project Manager, Low Carbon Municipality
Ms. Varakaru	Coordinator, Low Carbon Municipality
Ms. Neeracha Tridech	GHG Mitigation Technical Team, TGO
Ms. Bussabongkot Deewasa	Assistant Senior Official, Strategy Office, TGO
Ms. Wararat Cha-umkrea	Assistant Senior Official, GHG Information Center, TGO
Ms. Phakamon Supappount	Senior Official, Carbon Business Office, TGO
Mr. Masahiko Fujimoto	Team Leader, JICA Expert Team

Mr. Tetsuya Yoshida	JICA Expert Team
Mr. Wataru Morimoto	JICA Expert Team
Dr. Mariko Fujimori	JICA Expert Team
Mr. Satoshi Iemoto	JICA Expert Team (long term)
Mr. Shuichi Ikeda	Chief Representative, JICA Thai Office
Mr. Daisuke Iijima	Senior Representative, JICA Thai Office
Mr. Yojiro Miyashita	Representative, JICA Thai Office
Ms. Jamaree Yamklinfung	Senior Program Officer, JICA Thai Office
Ms. Prastert Sirinapaporn	Director, Climate Change Management and Coordination Division, ONEP
Dr. Kollawat Sakhakara	Environmental Official, Professional Level, ONEP

## 第2章 プロジェクトの実績

### 2-1 プロジェクトの投入実績

#### 2-1-1 日本側

##### (1) 専門家の派遣

- ・1名の長期派遣専門家（気候変動政策／人的資源開発）が、2013年7月から派遣されており、2014年12月末まで合計17人月（MM）の業務が行われた。
- ・合計9名の短期専門家が下記のとおりチーム派遣された。日本及びタイでの業務の合計は36.5MM（2014年12月末まで）であった。

業務分担	第1次予算年度 (2013年5月13日～2014年3月14日)	第2次予算年度 (2014年5月14日～12月4日)	合計 (2014年12月14日まで)
総括／気候変動対策	2.4	2.0	4.4
低炭素開発 1	1.4	1.1	2.5
低炭素開発 2／緩和策 2／研修計画 3	4.6	4.5	9.1
GHG インベントリ	1.0	0.4	1.4
適応策／緩和策 1	1.4	1.1	2.5
研修計画 1	1.2	1.0	2.2
研修計画 2／研修マネジメント 2	2.5	1.7	4.2
業務調整／研修マネジメント 1	4.7	3.7	8.4
ビジネスプラン（BP）作成	-	1.8	1.8
合 計	19.2	17.3	36.5

(1.0MM=30 業務日数、日本での業務日数も含む)

##### (2) 本邦研修（詳細は付属資料1．M/MのAnnex 2を参照）

2014年12月時点で、本邦研修に参加したC/Pは合計15名であった。

研修コース名	期 間	参加人数
CITC 設立のための能力開発（1）	2013年11月25日～12月7日	9名
CITC 設立のための能力開発（2）	2014年1月14日～22日	6名

##### (3) JICAによる供与機材

- ・付属資料に記載された詳細のとおり供与機材は、インセプションレポートの説明の際に、タイ政府との協議に基づきタイ国温室効果ガス管理機構（TGO）側から要請されたとおりに供与された。

- ・機材（テレビモニターセット、スキャナー等）についての詳細は、付属資料 1. M/M の Annex 3 のとおりであり、機材は気候変動国際技術研修センター（CITC）に設置され、研修や広報活動に利用されている。
- ・供与機材の合計金額は 2013 ～ 2014 年で約 93 万 2,000 円（THB 29 万 8,000）であった。

（４）ワークショップ・セミナーの開催状況は以下のとおり

- ・2013 年 9 月 6 日：第 1 回合同調整委員会（Joint Coordination Committee：JCC）会議（キックオフ会議）
- ・2014 年 5 月：研修ニーズアセスメント（Training Needs Assessment：TNA）ASEAN ワークショップ（CITC 設立発表）
- ・2014 年 7 月 21 日：第 2 回 JCC 会議
- ・2014 年 8 月：ASEAN 諸国のための GHG インベントリワークショップに参加

2-1-2 タイ側

（１）人材配置

- ・主要なアサインメントは以下のとおり。

TGO 局長（プロジェクト・ディレクター）：Ms. Prasertsuk Chamornmarn

TGO 次長：Dr. Natarika Wayuparb

TGO 能力構築アウトリーチ部 部長（プロジェクト・マネジャー）：Dr. Jakkanit Kananurak

- ・合計 20 名のタイ側 C/P が 2014 年 12 月の時点で配置されていた。

（２）プロジェクト執務室の供与

- ・プロジェクト調整オフィスが、タイ政府合同庁舎の TGO 事務所内に 1 つの執務室が設置されている。

（３）タイ国側経費負担

- ・TGO によるとプロジェクトへの経費負担（研修開発等）は、合計 THB 1,617 万 7,275.39（中間レビュー時点まで）であった。

タイ会計年度*	研修及びカリキュラム開発	PR 及びネットワーク活動	業務管理	合 計 (THB)
2012	187,915.59	333,410.00	162,437.90	683,763.49
2013	4,769,060.72	2,931,812.73	547,590.35	8,248,463.80
2014	2,949,408.36	673,115.69	3,622,524.05	7,245,048.10
合 計	7,906,384.67	3,938,338.42	4,332,552.30	16,177,275.39

\*：タイの会計年度は 10 月開始。

## 2-2 プロジェクト成果の進捗状況

(研修の進捗状況は、付属資料1. M/MのAnnex 5を参照)

(1) 成果1: TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立の準備がなされる。

### <活動の進捗・達成>

- ・活動 1-1: TGO 及び JICA 専門家チームにより改定された CITC のビジネスプラン (Business Plan: BP) は、第 1 回 JCC (2013 年 9 月 6 日) で承認され、第 2 回 JCC (2014 年 7 月 21 日) において関係者に共有された。中間レビュー時点において、最終版 BP について協議中である。
- ・活動 1-2: 「GHG インベントリの課題」についての研修ニーズアセスメント (TNA) 参加型ワークショップと質問票調査がタイ中央政府実務者及び ASEAN の関係者に対して行われた。「低炭素社会 (LCS) の課題」についてはタイ地方政府の指導者や実務者、さらに ASEAN の関係者に対して、数回のワークショップが行われた。いくつかのワークショップはタイ国自治体協会 (NMT) のような地元の研究機関が実施した。
- ・上記の活動結果に基づき、TGO と JICA 専門家チームは、活動 1-3 に関連してタイの国内及び国外にいる人材について協議した。
- ・活動 1-4: 「GHG インベントリ管理コース (タイ中央政府実務者対象)」について研修プログラムと教材 がチェンマイ大学等の研究機関グループにより開発され、それらを TGO と JICA 専門家チームが共同で検証した。「LCS コース (地方政府指導者対象)」及び「LCS コース (地方政府実務者対象)」に関する研修プログラム等は、TGO と JICA 専門家チーム、さらに、タイの地元コンサルタントである AIT とタイ・エネルギー及び環境大学院連合ーキングモットク大学 (JGSEE-KMUTT) により作成された。
- ・活動 1-5: CITC の目的、任務、研修カリキュラム及び日程の情報、更に気候変動の緩和 / 適応等に関する知識を普及するためのポータルサイトとして、CITC は公式なウェブサイト確立した。
- ・TGO と JICA 専門家チームは「緩和メカニズム」と「気候変動ファイナンス」について、カリキュラム開発を開始することにも合意した。

中間レビュー時点の指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは次のとおりである。



指 標	進捗・見込み
1-1. CITC の組織図、綱領、配分される予算が CITC の文書に記載される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- BP には CITC の戦略、重要なサービス及びマーケティング計画についての分析が含まれる予定であり、C/P と JICA 専門家によって最終化される。BP には CITC の体制と任務が定義されている。予算の課題についても CITC のマーケティング計画に沿って分析されている。BP の枠組みは 2015 年 2 月に行われる第 3 回 JCC で承認されることが期待されており、さらに、BP の財務分析は継続される予定である。</li> <li>- CITC のウェブサイトは既に開設されて情報発信が始まり、CITC の関係者に対してアドレスが発表された。学問的内容は最終化されないままウェブサイトにアップロードされ、全体的構成やさまざまなフォーマットに関する課題はまだ協議中である。</li> <li>- 2 種類の研修教材 1)「LCS（地方政府の実務者対象）」に関する教科書とパワーポイント発表教材（英語及びタイ語）、2)「GHG インベントリ管理（中央政府の実務者対象）」指導者マニュアル（英語）が作成された。</li> <li>- TGO と JICA 専門家チームは、「緩和メカニズム」及び「気候変動ファイナンス」について、カリキュラム開発を開始することにも合意した。</li> </ul>
1-2. ウェブサイトによる情報伝達するための知識プラットフォームが確立される。	
1-3. 開発されたカリキュラム（タイ語及び英語）が選択された研修コースについて作成される。	

（２）成果 2：TGO とタイの関係機関によって緩和 / 適応に関する研修が実施される。

＜活動の進捗・達成＞

- ・活動 2-1：「GHG インベントリ管理コース（タイ中央政府実務者対象）」の研修は、業務委託されたチェンマイ大学によって 2014 年 8 月に実施された。さらに「LCS レジリエントコース（地方実務者対象）」の研修もプロジェクト（CITC と JICA 専門家チーム）により、2014 年 12 月に実施された。「LCS レジリエントコース（地方実務者対象）」研修参加者へのインタビュー結果によると、コースのデザインについていくつか改善の余地がある（対象者、重点項目）ことが示された。
- ・活動 2-2：活動 2-1 に基づき、2 つの指導者研修（TTT）プログラムが開発され、これらの主要研修プログラムに続いて実施された。さらに、2 つの本邦研修プログラムが行われた。第 1 回目は TGO から 9 名の研修生を受け入れ 2013 年 12 月に実施され、第 2 回は TOG 及び関係機関から 6 名を受け入れ 2014 年 1 月に行われた。

中間レビュー時点の指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは次のとおりである。

指 標	進捗・見込み
2-1. 選択されたコースのために指導員が育成される。	- 合計 24 名の指導員が、2014 年 8 月実施の「タイ中央政府実務者対象のための GHG インベントリ管理コース」及び同年 12 月の「地方実務者のための LCS レジリエントコース」の TTT コースによって育成された。各コースの指導員育成数は前者が 15 名、後者は 9 名であった。
2-2. 少なくとも受講者の 70 % (80%の評価点で) が研修内容に満足する。	- 2014 年 12 月下旬に「地方実務者のための LCS レジリエントコース」とその TTT コースについて評価調査が実施された。その結果 70%以上の研修生が各コース研修に満足 (80%の評価点) したことを示した。一方では、研修参加者からのコメントで、研修デザイン (対象者、研修の重点項目) や研修管理に多少改善の余地があることが指摘された。

(3) 成果 3 : 緩和 / 適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国のなかで共有される。

<活動の進捗・達成>

- ・活動 3-1 : 「緩和メカニズム」コースに関して TGO と JICA 専門家チームが協議を開始した。
- ・活動 3-2 : プロジェクトは ASEAN 諸国と共に学問的知識を共有するためのワークショップを 2 回開催した。第 1 回目は CITC の紹介と LCS についての能力開発のための TNA を行い、第 2 回目は、東南アジア諸国連合国内温室効果ガスインベントリワークショップ (Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries : WGIA) のサイドイベントとして GHG インベントリのための TNA を行った。

中間レビュー時点の指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは次のとおりである。

指 標	進捗・見込み
3-1. ASEAN 開発途上諸国向けに実施されたセミナー・ワークショップ・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ASEAN 諸国向けのワークショップを2回実施した。</li> <li>1) 2014年5月に TNA ASEAN ワークショップを CITC が実施した。8カ国の ASEAN 諸国（ベトナム、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン及びタイ）から合計 117 名が参加した。</li> <li>2) 2014年8月に ASEAN 関係者が参加した国際インベントリ会議（WGIA）のサイドイベントとして、GHG インベントリワークショップを開催した。</li> <li>- CITC の研修プログラム概要を含む情報が、日本や東南アジア諸国（タイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール及びベトナム）に、2014年12月の気候変動枠組条約第20回締約国会議（COP20）のサイドイベント等、さまざまなイベントやセミナーで共有された。</li> </ul>

## 2-3 プロジェクト目標の達成可能性

プロジェクト目標：タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。

プロジェクト目標達成に向けて、以下のとおり2つの指標が評価される。

- ① 「CITC のための研修管理、知的貢献、ロジスティクスシステムが構築される」という指標の達成に向けて努力が続けられている。組織体系や CITC の各部署の役割及び研修管理活動については CITC の BP の中で明らかにされた。しかしながら、BP を実施するために予算や人的資源の確保が必要であることが認められている。
- ② 「研修プログラム開発及び実施のために関係機関との協力が持続する」は下記の表に要約されているとおり、タイの国内外でのネットワークを通じて成功裏に実施されている。

中間レビュー時点の指標に基づく進捗度と今後の達成への見込みは次のとおりである。

指 標	進捗・見込み
1. CITC のための研修管理、知的貢献、ロジスティクスシステムが構築される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 組織体系や CTIC 内各部署の役割及び研修管理活動を含む管理システム概要が CITC の BP に明記された。BP には主要なサービスやマーケティング計画と戦略の分析も含まれる予定で、これらについては検討中である。</li> <li>- TGO 職員の研修管理技術（ロジスティクスやコース設計を含む）については、残されたプロジェクト期間内に更なる改善が期待される。</li> <li>- タイ国内の関係機関との協力は、緊密な調整と研修ピアレビューのための技術的な下部委員会といったタイ国内のさまざまな研修に関する内部会議への参加を通じて維持され強化されている。</li> <li>- 国際組織とのネットワークは、プロジェクトの開始により、さまざまな気候変動に関するタイ国内及び国外の国際会議やイベントの開催あるいは参加を通じて、めざましく強化された。ASEAN 諸国及び日本の組織、特に政府部門や学術 / 研究機関からのネットワークは、著しく強化された。</li> <li>- プロジェクトは上記の組織から、研修プログラムや教材開発の開発という点で技術的な助言を受けた。</li> </ul>
2. 研修プログラム開発及び実施のために関係機関との協力が持続する。	

## 2-4 プロジェクトの実施プロセス

### <技術と学問的移転の方法>

- ・インタビュー調査の結果によると、プロジェクト活動（研修カリキュラムの開発、関係者間の調整）は、C/P の職員と JICA 専門家の相互での討論や協議に基づいて実施されてきた。
- ・C/P からの要請に基づき、参加型ワークショップや研修管理技術を強化するため特別のファシリテーション研修が JICA 専門家により行われた。
- ・低炭素アジア研究ネットワーク（Low Carbon Asia Research Network : LoCARNet）のような学術的組織や、タイ国内及び国外の他の研究機関とのネットワーク構築を通じて、気候変動の課題に関する最新情報や学術的知識を入手できるよう改善された。

### <タイ側の活動実施状況>

- ・タイの研究者達は積極的にプロジェクトに参加している。インタビューによると、C/P と TGO の他の部署の職員は、気候変動に関する最新情報と知識を得るため、プロジェクトに参加することに大変高い意欲をもっている。タイ側の C/P も日本側の専門家も平等な立場でプロジェクト実施に貢献していることが認められ、更に双方とも研修プログラム進行の管理を担っている。C/P は有効な研修プログラムを実施するため、特にタイ国内の地方政府のニーズに合うように、タイ国自治体協会（NMT）のような他の組織とのネットワークを率先して構築してきた。

#### <プロジェクト・モニタリング>

- ・以下の方法で、プロジェクトの進捗や課題についての情報共有が行われている。一方で、C/P への質問票の回答から、プロジェクト活動の効果的計画策定に考慮して C/P と JICA 専門家間のコミュニケーションを更に向上させる必要があることが示された。
  - ① 合同調整委員会（JCC）がこれまでに 2 回開催された。
  - ② プロジェクトは 2 カ月に一度、ハイレベル（TGO の次長参加）による活動調整会議を行っている。
  - ③ 毎週（不定期であるが頻繁に）作業レベルでの会議を行っている。
  - ④ 3 部の進捗報告書が、英語版及び日本語版で TGO と JICA に提出されてきた。
- ・プロジェクトの内容に大きな影響を与えず、いくつかの活動と指標を明確にするため、プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）の微修正が行われ、2014 年 7 月に開催された第 2 回 JCC で承認された。

## 第3章 5項目評価に基づく評価結果

評価5項目による評価結果は下記の整理のとおり。その評定は、高い順から「大変高い」、「高い」、「中程度」、「低い」、「大変低い」である。

### 3-1 妥当性：大変高い

#### <必要性及びタイの政策との整合性>

- ・本プロジェクトは、気候変動の緩和と適応のための能力開発に関連する現行のタイ国政府の政策や戦略と整合している。「第11次国家経済社会開発計画（2012～2016年）」では、温室効果ガス（GHG）の緩和、クリーン開発メカニズム（CDM）、低炭素社会（LCS）及び持続的開発が、第8章3節に明確に記載されている。さらに、「タイ国気候変動マスタープラン（2014～2050）」には以下のとおり3つの主要戦略、すなわち「気候変動に対する適応」「GHG排出の削減と低炭素成長の促進」及び「気候変動管理のための能力構築」が設定されている。
- ・急速な経済成長とGHG緩和活動の実施について高い潜在性があるにもかかわらず、ASEAN開発途上国では効果的な気候変動対策の能力開発と支援をいまだに相当必要とする。気候変動国際技術研修センター（CITC）は主にASEAN開発途上国に対して、研修生への有効で適時に有益な知識を提供するために、「ワンストップ」研修センターとして設計されている。

#### <日本のタイに対するODA戦略との整合性>

- ・プロジェクトは日本の「タイ王国 国別援助方針（2012年）」にも整合している。援助政策の優先分野は、競争力強化を通じた経済成長への取り組み、環境や気候変動のような重要な国内課題を含んでいる。また、「ASEAN域内共通課題への対応」が優先分野のひとつに挙げられている。
- ・2014年9月の国連総会において、日本の首相は今後3年間に気候変動分野で14,000人の人的資源開発を支援することを公約した。

#### <ASEAN諸国の政策との整合性>

- ・CITCの任務（能力開発、気候変動緩和/適応に関する情報の共有）は、「ASEAN共同体ロードマップ（2009～2015年）」にある「ASEANの社会－文化共同体詳細計画方針の戦略目標(10)：（気候変動への対応と、その影響に取り組むこと）」と整合性が大変高く、そのなかで「平等、柔軟性、有効性、共通ではあるが異なる責任、それぞれの能力、また異なる社会及び経済状況を反映させる原則に基づき、緩和と適応策の実施を通じてASEAN諸国において気候変動の課題とその社会経済開発、保健や環境への影響に取り組むため地域内及び国際協力を強化する」と述べている。

#### <手段の適切性>

- ・研修カリキュラムは、タイ国内外のさまざまなターゲットグループを含むニーズ調査や参加型ワークショップに基づき開発された。しかしながら、C/PとJICA専門家へのインタビューから、研修コースのニーズ設定を更に特定化する必要があるという指摘があった。また、ニーズ調査には一層の準備が必要であり、ニーズ調査の結果はカリキュラムの設定に十分反



映されるべきであるとの指摘もなされた。

- ・プロジェクトは、複数の関係者と研修コースの開発と実施を通じて、特にタイ国内、他の ASEAN 諸国及び日本の大学や学術研究機関との人材ネットワークを強化する支援に努めている。

### 3-2 有効性（見込み）：高い

＜プロジェクト目標達成の見込み＞

- ・ほとんどの各成果の指標は計画どおりに達成されつつある。本プロジェクト目標の「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、タイ国温室効果ガス管理機構（TGO）の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される。」を達成するためには、ビジネスプラン（BP）を運営できるように予算や人材を確保することの必要性が認められる。GHG 情報センターのような TGO の他の部局から本邦研修に参加した数名の職員は、CITC の研修カリキュラム作成にも協力し、キャパシティ・ビルディングチームの能力開発に貢献している。
- ・プロジェクト目標を完全に達成するためには、いくつかの課題が残されている。インタビューの結果から、研修コース設定（対象グループ、重点課題）と研修管理のような研修コースの計画／実施について改善の余地があることが提案された。これまでのところ、プロジェクトによる研修コースは 1 サイクル実施されたにすぎず、研修コースの計画／実施について更なる経験が C/P にとっては必要である。さらに、BP の詳細化には研修コースの計画／実施について、能力開発と一致して実行される必要がある。
- ・顧客のニーズ変化や状況の変化により良く対応するため、自らが進路を決められるよう、CITC の能力開発に対する更なる努力が必要である。

＜成果からプロジェクト目標への外部条件の状況＞

- ・プロジェクト目標を達成するためプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）の外部要件に関して、BP を運営できるように予算や人材を確保することの必要性が認められる。さらに、戦略的なパートナーシップを構築することの重要性も認められる。

### 3-3 効率性：中程度～高い

＜投入の状況：タイミング、質・量＞

- ・気候変動に関する学術的知識や最新情報はさまざまな研究機関〔例えば、地球環境戦略研究機関（Institute for Global Environment Strategies : IGES）〕と共有されており、プロジェクトはタイ国内だけでなく、ASEAN 諸国及び日本とも広範囲なネットワークと協力を行ってきた。
- ・TGO のニーズや気候変動に関する課題の国際的傾向により、研修プログラムの内容やコースはプロジェクトによって柔軟に変更されてきており、これが研修プログラムの効率的な管理に貢献した。
- ・プロジェクトは予定どおり目標を達成してきている。しかしながら、いくつか満たされていない点がある。そこで、以下のとおりの更なる取り組みが提案される。
  - ① C/P からの質問票への回答によると、プロジェクト活動体制を更に改善することに関連して、C/P と JICA 専門家のコミュニケーションをより改善させる必要があることが指摘

された。

- ② プロジェクトは研修管理及び広報活動のために、いくつかの機材を供与してきた。大半の機材は C/P によって頻繁に活用されていることが認められた。機材の利用状況を更に向上させるため、一層の調整が行われるよう提言される。

### 3-4 インパクト（見込み）：中程度

#### <上位目標に関するインパクト>

プロジェクトの上位目標：気候変動国際技術研修センター（CITC）が ASEAN 地域の気候変動研修に関して研修センターとして認知され、ネットワーキングの基礎（プラットフォーム）として機能する。

- ・プロジェクトは、ワークショップを通じて ASEAN 諸国及び ASEAN 事務局とネットワーク構築を始めており、さらに、ASEAN の関係者のために研修プログラム開発するための協議が、中間レビュー時点で行われている。
- ・能力開発は国連気候変動枠組条約（UNFCCC）進展において重要なひとつの要素であり、プロジェクトは CITC の国際的な認知を高めることに着手し始めた、そして更に促進されることが期待されている。

#### <波及効果、持続性への可能性等>

- ・天然資源・環境省（MONRE）の大臣は、2014 年 12 月の気候変動枠組条約第 20 回締約国会議（COP20）において、タイの GHG 緩和目標（2020 年までに 2,000 万 t 削減）を発表した。プロジェクトは、TGO と密接な関係者の能力を強化することにより、「国としての適切な緩和行動（NAMA）」と「（温室効果ガスの）測定・報告・検証（MRV）」過程の実施促進が容易になることも期待している。

### 3-5 持続性（見込み）：中程度～高い

#### <技術面>

- ・多少の学問的知識は日本の専門家からタイの C/P に移転された。知識の移転は研修教材の開発、研修やワークショップの準備と運営、本邦研修への参加を通じて成功裏に行われてきた。
- ・これらの知識や技術が、タイ国内外及び低炭素アジア研究ネットワーク（LoCARNet）のようにさまざまな研究機関と構築されたネットワークによって持続し更新されることが期待される。
- ・タイ国内のいくつかの研究機関との関係も、研修教材やプログラム開発のために持続すると思われる。
- ・プロジェクトの持続性を更に高めるため、UNFCCC 及びその他の公開討論会において状況の変化や新しい議題に注意し、潜在的な顧客の進化するニーズに応えるための努力と、更なる配慮が提案される。

<組織・財政面>

- ・CITC BPを運営できるよう予算と人材の確保が必要であることが確認された。CITCの運営はTGOとMONREが政策の方向性について十分な調整がなされていることを保証するため、更なる取り組みが提案される。さらに、タイ国内及び国外の関係組織／関係者との戦略的協力が、CITC活動を持続するために重要となるだろう。

## 第4章 結論と提言

### 4-1 結 論

プロジェクトの各成果のレベルにおいて、PDM 指標に照らし、ビジネスプラン（BP）の策定、研修やワークショップの実施を通じたタイ国温室効果ガス管理機構（TGO）スタッフの能力強化やタイ国内外とのネットワークの強化など、おおむね順調な活動進捗が確認された。

他方、BP（ドラフト）に示されている人員の配置が実際には困難であること、いまだ気候変動国際技術研修センター（CITC）の活動の多く（教材の作成や一部の研修の実施）が外部機関への委託というかたちで行われざるを得ないという現状も確認されている。プロジェクト目標である「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される」ことを達成するために、以下の提言を行った。

### 4-2 提 言

- （1）CITC の運営に必要な予算と人員の確保に加え、予算・人員等のリソースに応じ、必要に応じて BP の見直しを行っていくことが求められる。CITC の活動・運営が、TGO や天然資源・環境省（MONRE）の政策の方向性と合致することが、CITC の持続性を高めるうえで重要となる。
- （2）国連気候変動枠組条約（UNFCCC）やその他の国際的な動向を踏まえ、変遷していく CITC プログラムの対象者の能力強化ニーズに対応していく必要がある。外部機関とのネットワーク構築においては、対象者の能力強化ニーズと、支援側のリソースのマッチングという観点で、ターゲットを明確にしていくことが重要と考えられる。加えて（TGO 側から提起された課題として）国内、地方レベルにおいて、気候変動対策に係る理解・意識を向上させていくための啓発活動を行っていく必要がある。
- （3）CITC でこれまでに行われている地方自治体向け実務者向けの「低炭素でレジリエントな社会構築」コースにおいては、コースの設計（対象者の設定や、研修内容のフォーカスなど）において改善の余地があることが、参加者から提言されている。今後計画されている研修の計画・実施を通じ、研修コースの設計・マネジメントに係る改善・能力強化が求められる。また、複数の TGO 関係者から、日本人専門家チームとのコミュニケーションに関する課題の指摘がなされており、スムーズな意思疎通を行っていくよう更に配慮していく必要がある。

### 4-3 団長所感

- （1）本プロジェクトは、「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される」を目標として、2013 年 6 月より開始され、今回、中間評価を迎えたものである。本プロジェクトは、この目標にもあるように、CITC がタイ国内のみならず ASEAN 開発途上国にも裨益させることに、その特殊性があるともいえる。

- (2) 現時点において、CITC は、実質的に、既に TGO 内に設置されてはいるものの（スタッフの多くも TGO と兼務）、資源の制約等もあり、いまだ十分な運営体制を整えているとはいえない。ただし、先方関係者との協議を通じて、先方としても、CITC のキャパビルの必要性が高いことは感じ取ることができ、また、それに向けた本プロジェクト活動成果への期待が高いことも確認できた。
- (3) CITC の BP はドラフトが策定されてはいるものの、今後、最終化にあたっては、先方と十分に意思疎通を図りながら、先方の実情（人的・資金的制約等）を踏まえて実効性の高いものを策定することが求められる。また、その BP に、先方政府が信頼を寄せ、CITC 実施体制強化のために必要な措置（リソース配分等）を実際に取りかかると、カギとなるであろう（裏を返すと、そうするようなプランを策定することが求められる）。そのために、必要と思われる提言をミニッツ（M/M）としてまとめて合意したものである。

## 付 属 資 料

1. 署名済み協議議事録 (M/M)
2. 収集資料リスト
3. 評価グリッド (和文・英文)、質問票 (和文・英文)




**MINUTES OF MEETINGS**  
**BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND**  
**THE AUTHORITIES CONCERNED OF THAILAND GREENHOUSE GAS MANAGEMENT**  
**ORGANIZATION (PUBLIC ORGANIZATION)**  
**ON THE MID-TERM REVIEW OF**  
**PROJECT FOR CAPACITY DEVELOPMENT ON CLIMATE CHANGE**  
**MITIGATION/ADAPTATION IN THE SOUTHEAST ASIA REGION**  
**IN THE KINGDOM OF THAILAND**

In line with the Record of Discussions (hereinafter referred to as “R/D”) signed between the Thailand Greenhouse Gas Management Organization (Public Organization) (hereinafter referred to as “TGO”) and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) for the Project for Capacity Development on Climate Change Mitigation/Adaptation in the Southeast Asia Region (hereinafter referred to as “the Project”) on December 21<sup>st</sup> 2012, a study for mid-term review of the Project was conducted in Bangkok in January 2015 for the purpose of reviewing the progress and achievements of the Project.

As a result of discussions, both TGO and JICA agreed to summarize the results of the mid-term review in the Mid-Term Review Report attached hereto.

Bangkok, January 15<sup>th</sup>, 2015

  
\_\_\_\_\_  
**Mr. Yutaka Fukase**  
Leader of the Mid-Term Review Team,  
Director, Environmental Management Team  
1, Global Environment Department  
Japan International Cooperation Agency  
JAPAN

  
\_\_\_\_\_  
**Mrs. Prasertsuk Chamornmarn**  
Executive Director,  
Thailand Greenhouse Gas Management  
Organization (Public Organization)  
Kingdom of Thailand

③

③

Joint Mid-Term Review Report  
for  
Project for Capacity Development on Mitigation  
/Adaptation for Climate Change in the Southeast Asia  
Region

---

Joint Mid-Term Review Team

2015/01/15

③

Pr

## CONTENTS

### List of Abbreviations

Chapter 1	Outline of the Evaluation Study
	1.1 Objectives of the Evaluation Study
	1.2 Members of the Evaluation Study
	1.3 Schedule of the Evaluation Study
	1.4 Methodology of Evaluation
Chapter 2	OUTLINE OF THE PROJECT
	2.1 Background of the Project
	2.2 Summary of the Project
Chapter 3	ACHIEVEMENT AND IMPLEMENTATION PROCESS
	3.1 Inputs
	3.2 Achievement of the Project
	3.3 Implementation Process
Chapter 4	EVALUATION BY FIVE CRITERIA
	4.1 Relevance
	4.2 Effectiveness
	4.3 Efficiency
	4.4 Impact
	4.5 Sustainability
	4.6 Conclusion
Chapter 5	RECOMMENDATIONS

3

Pm

Annex 1:	Schedule of the Japanese Evaluation Team
Annex 2:	Training C/P in Japan
Annex 3:	List of Provided Equipment by JICA
Annex 4:	TGO Project Members
Annex 5:	Progress of Training Programs

3

P

### List of Abbreviation

AIT	Asian Institute of Technology
ASEAN	Association of South-East Asian Nations
BP	Business Plan
CDM	Clean Development Mechanism
CITC	Climate Change International Technical and Training Center
COP	Conference of Parties
C/P	Counterparts
GHG	Greenhouse Gas
IGES	Institute for Global Environment Strategies
JCC	Joint Coordination Committee
JGSEE-KMUTT	Joint Graduate School of Energy and Environment- King Mongkut University of Technology Thonburi
JICA	Japan International Cooperation Agency
LoCARNet	Low Carbon Asia Research Network
LCS	Low Carbon Society
MM	Man –Months
MONRE	Ministry of Natural Resource and Environment
MRV	Measuring, Reporting and Verification
NAMA	Nationally Appropriate Mitigation Actions
NMT	The National Municipality League of Thailand
PDM	Project Design Matrix
PR	Public Relations
TGO	Thailand Greenhouse Gas Management Organization
TNA	Training Needs Assessment
TTT	Training the Trainers
UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change
WGIA	Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries

3

Prms



## Chapter 1 OUTLINE OF THE EVALUATION STUDY

### 1.1 Objectives of the Mid-Term Review

The specific objectives of the Mid-term Review are outlined as follows.

- 1) To review the progress of the Project and evaluate the achievement in accordance with the five evaluation criteria (relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability)
- 2) To identify factors that promote/impede the implementation of the Project
- 3) To consider necessary actions to be taken and provide recommendations for the Project
- 4) To revise the project plans, if necessary
- 5) To summarize the result of the review into a joint report

### 1.2 Members of the Joint Mid-Term Review Team

The Joint Mid-Term Review Team (hereinafter referred to as “the Team”) consists of the following members.

#### 1.2.1 Thai Team

Name	Position/Organization
Ms. Prasertsuk Chamornmarn	Executive Director, Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
Dr. Natalika Wayuparb	Deputy Executive Director, TGO
Dr. Jakkanit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, TGO

#### 1.2.2 Japanese Team

Name	Function	Designation	Period of Travel
Yukaka FUKASE(Mr.)	Team Leader	Director, Environmental Management Team 1, Global Environmental Department, Japan International Cooperation Agency (JICA)	January 12-16
Masato, KAWANISHI (Dr.)	Climate Change Measures	Senior Advisor, JICA	January 12-16
Yukichi USUI (Mr.)	Project Management	Deputy Director, Office for Climate Change and Environmental Management Group, Global Environmental Department, JICA	January 11-16

3

Pm



Jun KAKINUMA (Ms.)	Evaluation and Analysis	Consultant, Earth and Human Corporation	January 4-16
--------------------------	----------------------------	---	--------------

### 1.3 Schedule of the Evaluation Study

The evaluation study was implemented from 4th to 16th January 2015 in Thailand. The schedule is attached as Annex 1.

### 1.4 Methodology of Evaluation

#### 1.4.1 Evaluation Procedure

First, the Team formulated the evaluation grid, which identifies the specific evaluation points and the data collection methods. For the data and information collection, the Team conducted interviews with main Japanese Experts and Thai Counterparts (hereinafter referred to as C/P) as well as other individuals related to the Project. The Team analyzed and evaluated the Project in terms of the achievement level, implementation process, and five evaluation criteria, i.e. Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability. Finally, the Team made recommendations based on the results of review for improving activities during the remaining period of the Project.

#### 1.4.2 Points for the Evaluation

The achievement levels in terms of Inputs, Activities, Output, and the Project purpose were assessed. The implementation process of the Project was also confirmed from various viewpoints, such as monitoring and communications.

#### <Evaluation Criteria>

In addition to verification of the achievement level and implementation process of the Project, the Mid-Term Review assesses the Project from the following five evaluation criteria.

- (1) Relevance: An overall assessment of whether the project purpose and overall goal are in line with policy of both sides, and with needs of the partner country and the sectors.
- (2) Effectiveness: A measure of whether the Project purpose will be achieved by the end of the Project period. This is then a question to the degree to which the Outputs contribute towards achieving the intended Project purpose.
- (3) Efficiency: A measure of the production of Outputs (results) of the Project in relation to the total resource Inputs.
- (4) Impact: The positive and negative changes and consequences, produced directly and

3

P

indirectly as the result of the Project.

- (5) Sustainability: An overall assessment of the extent to which the positive changes achieved by the Project can be expected to last after the completion of the Project.

③

Pr

## Chapter 2      **OUTLINE OF THE PROJECT**

### **2.1 Background of the Project**

The developing countries in Southeast Asia Region, namely Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Thailand and Vietnam (Association of South-East Asian Nations: ASEAN developing countries), face challenges of climate change. Despite their rapid economic growth, ASEAN developing countries still significantly require capacity development and assistance to address climate change and implement related activities effectively and in a timely manner.

Recognizing the need to further develop capacity of Thailand and ASEAN developing countries to collectively address climate change at the regional and international levels, TGO proposed to establish the Climate Change International Technical and Training Center (CITC) for capacity development on climate change as a “one stop training center” for ASEAN and other interested countries.

The proposal and its importance were discussed and acknowledged among representatives of ASEAN developing countries at the “ASEAN Meeting on Greenhouse Gas (GHG) Mitigation and Low Carbon Society (LCS)” in August 2011 in Thailand.

With this background, Thailand requested Japan for technical assistance to enhance CITC in order for the capacity development on climate change mitigation/adaptation not only for Thailand but also for other ASEAN countries.

### **2-2 Summary of the Project**

#### **Project Purpose:**

Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries

#### **Outputs**

**Output 1: CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organization**

Activity 1-1: Set up institutional framework of the CITC.

1-2: Conduct needs assessment on target group in Thailand (governments, and non-governments) and ASEAN focal points of climate change.

3

P

- 1-3: Identify training resources by coordinating stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries depending on the theme.
- 1-4: Develop curriculum (with Thai stakeholders or with international stakeholders depending on the themes)
- 1-5: Strengthen Information management system by developing information knowledge platform and website.

**Output 2: Trainings of Mitigation/Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.**

- Activity 2-1: Conduct trainings on selected topics for related stakeholders.
- 2-2: Develop trainers through train the trainers (TTT) activities.

**Output 3: Capacity development program on Mitigation/Adaptation are shared among ASEAN countries.**

- Activity 3-1: Develop training courses for ASEAN developing countries based on the needs assessment.
- 3-2: Organize workshops to share knowledge and experience on climate change with focal persons of climate change in ASEAN developing countries.

3

Pm



## Chapter 3 ACHIEVEMENT AND IMPLEMENTATION PROCESS

### 3.1 Inputs

#### 3.1.1 The Japanese side

##### (1) Inputs of Personnel

- One long-term expert “Climate Change Policies/ Human Resources Development” has been assigned since July 2013. Input for the long term expert is 17 Man –Months (MM) in total as of the end of December 2014.
- In total 9 short-term experts have also been assigned as follows. The input of the short-term expert team is totaled as 36.5MM (up to December 2014) for works in Thailand and Japan.

Assignment	1 <sup>st</sup> fiscal year (May 13 – Mar 14)	2 <sup>nd</sup> fiscal year (May 14 – Dec 14)	Total (up to Dec 14)
Team Leader/ Climate Change Policy	2.4	2.0	4.4
Low Carbon Development 1	1.4	1.1	2.5
Low Carbon Development 2/ Mitigation Measures 2/ Curriculum Development 3	4.6	4.5	9.1
GHG Inventory	1.0	0.4	1.4
Adaptation Measures/ Mitigation Measures 1	1.4	1.1	2.5
Curriculum Development 1	1.2	1.0	2.2
Training Management 2/ Curriculum Development 2	2.5	1.7	4.2
Administrator/ Training Management 1	4.7	3.7	8.4
BP	-	1.8	1.8
Total	19.2	17.3	36.5

(1.0MM=30 assignment days, values includes assignment days in Japan)

##### (2) Training of the C/P in Japan (Annex 2)

In total number of C/P having participated in training in Japan is 15 persons as of December 2014.

3

Pm

Name of training course	Period	Number of C/P
Capacity Development for Establishment of CITC (1)	2013/11/25-2013/12/7	9
Capacity Development for Establishment of CITC (2)	2014/1/14-2014-1/22	6

(3) Provision of equipment (see Annex 3 for details)

- The equipment requested by TGO as stipulated in the Minutes of Meeting of Inception Report has been provided to Thai side.
- Details of experimental equipment (e.g. TV monitor sets, Scanner and so on) installed are shown in Annex 5. Equipment was installed into CITC, and utilized for training programs and public relations' activities.

(4) Meetings, Workshops and Seminars Organized

- The Project held annual meetings and workshops as follows:
  - 6 September 2013 : 1<sup>st</sup> Joint Coordination Committee (JCC) meeting (Kick-off meeting)
  - May 2014 : Training Needs Assessment (TNA) ASEAN workshop (Announcement of CITC launching)
  - 21 July 2014 : 2<sup>nd</sup> JCC meeting
  - August 2014 : Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries (Workshop on Greenhouse Gas Inventories in Asia :WGIA 12)

### 3.1.2 The Thai Side

(1) Personnel in TGO (Annex 4: Thai Side Members)

- Executive Director (Project Director) : Ms. Prasertsuk Chamornmarn
- Deputy Executive Director : Dr. Natarika Wayuparb
- Director (Project Manager) : Dr. Jakkani Kananurak
- In total 20 Thai C/P were assigned for the Project as of December 2014.

(2) Provision of Project office and Research Facilities

- 1) A Project Coordination office at CITC/TGO in Government Complex.

③

③



### 3.2 Achievement of the Project

#### 3.2.1 Outputs (Progress of Training courses is shown in Annex 5)

##### Output 1

Output 1 : “CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations”

##### <Progress on Activity Basis>

- Activity 1-1: The CITC Business Plan (BP) was revised by TGO and JICA expert team, which was approved by the first JCC (6<sup>th</sup> of September, 2013) and shared among the stakeholders at the 2<sup>nd</sup> JCC (21<sup>st</sup> of July, 2014). The final version of the BP is under discussion at the time of Mid-term Review.
- Activity 1-2: TNA participatory workshops and questionnaire surveys were conducted on ‘GHG inventory topic’ for Thai central government implementers and ASEAN stakeholders. Regarding ‘LCS development topic’, several workshops were conducted for Thai local government practitioners and executives, and also for ASEAN stakeholders. Several workshops were conducted by local institutes such as The National Municipality League of Thailand (NMT).
- Based on the result of the above activity, TGO and the JICA expert team discussed with resource personnel located in and outside of Thailand in relation to Activity 1-3.
- Activity 1-4 Training programs and materials for “GHG Inventory Management for central government implementers” were developed by a group of Thai national institutes such as Chiang Mai University, and reviewed under collaboration with TGO and the JICA expert team. ‘Development for local leaders’ and “LCS for local practitioners” were prepared by TGO, JICA Expert Team and Thai local consultants such as Asian Institute of Technology (AIT) and Joint Graduate School of Energy and Environment- King Mongkut University of Technology Thonburi (JGSEE-KMUTT).
- Activity 1-5: CITC has established its official website as a portal for dissemination of information about objectives, mission, training curriculum and schedule of CITC, and also knowledge on mitigation/adaptation for climate change and so on.
- TGO and the JICA expert team have also agreed to start developing curriculums for ‘Mitigation Mechanism’ and ‘Climate Finance’.

3

2

Progress and prospect as compared with planned indicator is as follow:

Indicators	Progress and Prospect
1-1 Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document.	<p>- The BP will contain analysis on strategy, key services, and marketing plan of CITC which is to be finalized by C/P and JICA experts. The structure and mission are defined within the BP. Budget issue has been also analyzed in line with CITC marketing plan. It is expected that the outline of BP to be approved by the 3<sup>rd</sup> JCC in February 2015, and financial analysis of BP will be continued.</p> <p>- CITC website has been already established and launched, and the web address was announced to related stakeholders. Knowledge contents are yet to be finalized and uploaded to the website and overall structure and subjects in various format are still under discussion.</p> <p>- Two training materials 1)Textbook and Power point presentation materials for “LCS for local practitioners” (English and Thai translation), 2) Trainers manual for “GHG Inventory Management for central government implementers” (English translation) were prepared.</p> <p>- TGO and the JICA expert team have also agreed to start developing curriculums for ‘Mitigation Mechanism’ and ‘Climate Finance’.</p>
1-2 Website-based knowledge platform of information dissemination is established.	
1-3 Training materials (textbooks in Thai and English) are prepared for selected training courses.	

## **Output 2**

Output 2 : “Trainings of Mitigation/Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.”

### **<Progress on Activity Basis>**

- Activity 2-1: “GHG inventory Management for central government implementers” training course was conducted by sub-contracted Chiang Mai University in August 2014. Also “Low Carbon Resilience Society for Local Practitioners” course was conducted by the Project (CITC and JICA team) in December 2014. Meanwhile, the results of the interview with participants of the “Low Carbon Resilience Society for Local Practitioners” course have shown that there is some room for improvement regarding the design of the course (target

3

P2

groups, focus of topics, etc.)

- Activity 2-2, based on the Activity 2-1: Two TTT programs were developed and conducted following those main training programs. In addition, two training programs were conducted in Japan. The first program received 9 participants from TGO in December 2013, and the second one received 6 participants from TGO and related agencies in January 2014.

Progress and prospect based on the planned indicator is summarized below.

Indicators	Progress and Prospect
2-1 Trainers are developed for selected courses.	<p>- In total 24 trainers were trained by TTT courses on “GHG Inventory Management for central government” in August 2014 and “Low Carbon Resilience Society for local practitioners” in December 2014. The numbers of trained trainers were 15 and 9 respectively.</p> <p>- Evaluation surveys for training courses on “Low Carbon Resilience Society Development ” and TTT were held in late December 2014. The results showed that more than 70% of trainees were satisfied (80% evaluation score) with each course. On the other hand, comments by the participants indicated that there are some room for improvement regarding the course designs (target groups, focus of training topics) and training management.</p>
2-2 At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents.	

### Output 3

The Output 3 : “Capacity development program on mitigation/adaptation are shared among ASEAN countries.”

#### <Progress on Activity Basis>

- Activity 3-1 has been started through discussions on “Mitigation Mechanisms” courses by TGO and JICA Expert Team.
- Activity 3-2: The Project organized two workshops to share knowledge with ASEAN countries. The first one was conducted for introduction of CITC and TNA for capacity development on LCS, and the second one was for TNA on GHG inventory as a side event of the Workshop on Capacity Development Role for GHG Inventory Preparation in ASEAN countries (WGIA).

Progress and prospect as compared with planned indicator is as follow:

3

P



Indicators	Progress and Prospect
3-1 Seminar/ workshop/ training is conducted for ASEAN developing countries	<p>- Two workshops were conducted for ASEAN countries:</p> <p>1) TNA ASEAN Workshop was conducted by CITC in May 2014. In total 117 participated from 8 ASEAN countries (Vietnam, Indonesia, Cambodia, Lao, Malaysia, Myanmar Philippines and Thailand)</p> <p>2) GHG inventory workshop was held as a back-to-back event with international inventory conference (WGIA), in which ASEAN stakeholders participated in August 2014.</p> <p>- CITC information including overview of training programs was shared in various other events and seminars held in Japan, Southeast Asia (Thailand, Cambodia, Indonesia, Lao, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore and Vietnam) and at the COP 20 side event in December 2014.</p>

### 3.2.2 Prospect to achieve Project Purpose

Project purpose is “Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.”

There are 2 indicators to be evaluated towards fulfillment of Project Purposes:

1. The effort to achieve the indicator “Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established” is on the way. Organizational structure and role of each division under CITC as well as training management activities have been indicated in the CITC BP. However, the necessity for securing budget and human resources for operationalizing the BP is recognized.
2. “Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.” has been successfully carried out through the network in and outside of Thailand as summarized in the table below.

Progress and prospect as compared with planned indicator is as follow:

Indicators	Progress and Prospect
1. Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are	- Overall management system including organizational structure and role of each division under CITC as well as training management activities is indicated in the BP.

3

P

established.	The BP will also contain analysis on key services and their marketing plan and strategies, which are under consideration.
2. Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Training management skills of TGO staff (including course designs, logistics, etc.) are expected to be further improved during the remaining period of the Project.</li> <li>- Cooperation with related domestic organizations has been sustained and strengthened through close coordination and active participation in various training-related internal meetings in Thailand such as for technical sub-committee for training peer review.</li> <li>- Networks with international organizations have been significantly strengthened since the initiation of the Project, through holding or attending various types of climate change-related international conferences and events in Thailand or in other countries. Networks with organizations in ASEAN countries and Japan, especially those from government sector and academic/research institutions, have been particularly enhanced.</li> <li>- The Project has received technical advice from above-mentioned organizations in terms of training program development and training material development.</li> </ul>

### 3.3 Implementation Process

#### <Modality of Technology and Knowledge Transfer>

- The result of the interviews has implied that Project activities (development of training curriculums, coordination among related stakeholders) have been implemented under mutual discussions and consultations between C/P personnel and the JICA experts.
- Along with the request from C/P side, ad hoc facilitation trainings were conducted by JICA experts to enhance skills for managing participatory workshops and trainings.
- Access to the latest knowledge and information on climate change issues has been improved through establishing networks with academic resources such as Low Carbon Asia Research

3

P

Network (LoCARNet) and other institutes in and outside of Thailand.

**<Implementation of activities by Thai Side>**

- Thai researchers are actively involved in the Project. According to the interviews, C/P and other TGO staff have high motivation to participate in the Project in order to obtain the new trend and knowledge on climate change. It was observed that both Thai C/P and Japanese experts equally contribute to the implementation of the Project, and both sides are in charge of management of the process of training programs. C/P have taken strong initiative in establishing network with other institutes such as NMT in order to implement effective training programs, especially to meet the needs of local governments in Thailand.

**<Project Monitoring>**

- Information on the progress and problems of the Project is shared among stakeholders through following means of communication. Meanwhile, the result of the questionnaire for the C/P indicated that the communication between C/P and JICA experts needs to be further improved with respect to better scheduling of Project activities.
  - 1) JCC was held twice so far.
  - 2) The Project organizes high level (with Deputy Executive Director) bimonthly meeting for coordination of activities.
  - 3) Weekly meetings (irregular but very frequently) have been organized at working level.
  - 4) Three progress reports both in Japanese and English languages have been submitted to TGO and JICA.
- A minor modification was made on the Project Design Matrix (PDM) once in order to clarify some activities and indicators without affecting the contents of the Project, which was approved by the 2<sup>nd</sup> JCC in July 2014.

③

②



## **Chapter 4 EVALUATION BY FIVE CRITERIA**

Results of five criteria evaluation are summarized in five ratings. The highest rate is “very high”, and followed by “high”, “fair”, “low” and “very low”.

### **4.1 Relevance: Very High**

#### **<Necessity and consistency with Thailand’s policy>**

- The Project is consistent with the existent strategies and policies of Thailand related to capacity development for climate change mitigation and adaptation. Under the 11<sup>th</sup> National Economic and Social Development Plan 2012-2016, greenhouse gas mitigation, Clean Development Mechanism (CDM), LCS and sustainable development are clearly stated in Section 3, Chapter 8. Furthermore, Thailand’s Climate Change Master Plan 2014-2050 sets 3 main strategies as follows: ‘Adaptation to Climate Change’, ‘Reduction of GHG Emissions and Promotion of Low-Carbon Growth’, and ‘Capacity Building for Climate Change Management’.
- Despite the rapid economic growth and high potential in implementing GHG mitigation activities, ASEAN developing countries still significantly require capacity development and assistance to implement climate change measures effectively. CITC is designed as “one-stop training center” for mainly ASEAN developing countries, for the purpose of providing useful knowledge for participants of CITC effectively and in a timely manner.

#### **<Consistency with Japan’s ODA cooperation strategy with Thailand>**

- The Project is consistent with Japan’s “country assistance policy for the Kingdom of Thailand” (2012). Priority areas in the policy include economic growth through enhancement of competitiveness, the environment and climate change as important domestic issues. Also, “Coping with common issues in ASEAN countries” is one of its priority areas.
- At the Plenary Session of the UN Climate Summit in September 2014, the Japanese Prime Minister pledged to assist human resource development of 14,000 people over the next three years in the area of climate change.

#### **<Consistency with ASEAN countries’ policy>**

- CITC mission (capacity development, information sharing on climate change mitigation/adaptation) is highly consistent with Strategic Objective of ASEAN Socio-Cultural Community Blueprint Direction 10 (Responding to Climate Change and addressing its impacts) in “Roadmap for an ASEAN Community (2009-2015)”, which states “Enhance regional and international cooperation to address the issue of climate change and

3

P

its impacts on socio-economic development, health and the environment, in ASEAN member states through implementation of mitigation and adaptation measures, based on the principles of equity, flexibility, effectiveness, common but differentiated responsibilities, respective capabilities, as well as reflecting on different social and economic conditions.

**<Appropriateness of Means:>**

- Training curriculums have been developed based on needs assessment and participatory workshops, which have involved various target groups in and outside of Thailand. However, the interviews with C/P and JICA experts indicated that the design of training courses needs to be more targeted. It is also indicated that the needs assessments need to be better organized and those results should be better reflected in designing the curriculums.
- The Project has been trying to assist to enhance human resource network through collaboration with multiple stakeholders in development and implementation of training courses, especially with academic institutions such as universities, research institutes in Thailand, other ASEAN countries and Japan.

**4.2 Effectiveness (prospect): High**

**<Prospect to achieve the Project Purpose>**

- Most indicators of each output of the Project have been duly achieved. Meanwhile, necessity for securing budget and human resources for operationalizing the BP is recognized in order to achieve the Project Purpose, “Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries”. Some officials from other offices in TGO such as the GHG information center have joined the training program in Japan, and they also collaborate with CITC for preparation of training curriculums, which contribute to the capacity development for Capacity Building team.
- Some challenges remain in order to fully achieve the Project purpose. The result of the review has suggested that there is some room for improvement in planning/implementing of training courses such as course designs (target groups, focus of training topics) and training management. More experiences in planning/implementing of training courses are needed for C/P because only one cycle of training course has been conducted by the Project so far. In addition, elaboration of the BP would need to be pursued in line with capacity development in training course planning/implementation.
- More effort may need to be taken on the capacity development of CITC so that it can steer itself to better adapt to the changing circumstances as well as changing needs of the clients.

3

Pm



#### <Situation on External Conditions from Outputs to Project Purpose>

With regard to the important assumptions of the PDM for the achievements of the Project Purpose, necessity for securing budget and human resources for operationalizing the BP is recognized. In addition, the importance of building strategic partnership is also recognized.

#### 4.3 Efficiency: Fair to high

Efficiency of the Project is assessed fair at the time of Mid-Term Review.

#### <Status of Inputs: Timing, Quality and Volume>

- Academic knowledge and latest information about climate change were shared with the various institutes (such as Institute for Global Environment Strategies: IGES) as the Project has been collaborated with a wide range of networks in not only Thailand but also ASEAN countries as well as Japan.
- According to the needs of TGO and international trends of climate change issues, contents and courses of training programs have been changed flexibly by the Project, which contributed to the efficient management of the training programs.
- The Project has achieved the targets in a timely manner. However, there are still some gaps to be filled in. Therefore, further efforts are suggested to be taken as follows:
- The result of the questionnaire for the C/P indicated that the communication between C/P and JICA experts needs to be further improved, with respect to further improving the organization of the Project activities.
- The Project has provided a number of equipment for training management and Public Relations (PR) activities. It was observed that most equipment is used frequently by C/P. More coordination is suggested to be taken for further improvement of the utilization of the equipment.
- 

#### 4.4 Impact (Prospect): Fair to High

##### <Impact related to the Overall Goal>

The Overall Goal of the Project is to “The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as network platform”.

- The Project has started to establish network with ASEAN countries as well as ASEAN Secretariat through the Workshops, and the development of training program for ASEAN stakeholders is under discussion at the time of Mid-term Review.
- While capacity development is one of the important elements under the United Nations Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) process, the Project has started to

3

2

enhance international recognition on CITC, and this is expected to advance further.

**<Ripple Effect/Multiple Effect to be Expected and Sustainability of Effects >**

- The minister of Ministry of Natural Resource and Environment (MONRE) announced the GHG mitigation target (20 million tons reduction by 2020) of Thailand at Conference of Parties (COP) 20 in December 2014. The Project is also expected to facilitate the promotion of implementation of Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMA) and its Measures, Reporting and Verification (MRV) process by enhancing capacities of related stakeholders.

**4.5 Sustainability (Prospect):Fair to High**

**<Technical Aspect >**

- Some knowledge transfer has been made from the Japanese experts to the Thai C/P, which has been carried out in successful manners through the development of training materials, preparation and operation of trainings and workshops, participation of training programs in Japan.
- Those knowledge and technologies are expected to be sustained and updated by the established networks with various institutes in and outside Thailand such as LoCARNet.
- The relationships with several institutes in Thailand would be also sustained for development of training materials and programs.
- In order to enhance sustainability of the Project further, more attention is suggested to be paid to the effort to meet evolving needs of potential clients, taking account of the changes in circumstances and emerging agendas under the UNFCCC and other relevant fora.

**<Organizational and Budgetary Aspects >**

Necessity for securing budget and human resources for operationalizing the CITC BP is recognized. Further efforts are suggested to be taken to ensure that the operations of the CITC are well aligned with the policy directions of the MONRE and TGO. Also, strategic partnership with related organizations/stakeholders in Thailand and abroad will be important for sustaining CITC activities.

**4.6 Conclusion**

In general, favorable progresses are observed in each of the outputs of the Project; capacity and networks on climate change mitigation/adaptation of CITC have been developing through the process of organizing the trainings and workshops. More efforts will be needed for achieving the Project Purpose as described in the following recommendations.

3

Pm



## Chapter 5 RECOMMENDATIONS

In consideration of (a) the progress and status concerning one of the indicators at the level of the Project purpose, “systems of training management, knowledge and logistics are established are established” and (b) the efforts that may be taken to internalize to some extent the important assumption for connecting the Project outputs to purpose, “Thai government continues to support of the CITC by securing budget and seeks strategic partners to sustain and expand activities; the following recommendations are made:

### (1) Alignment with the policy direction of the MONRE/TGO

The necessity to secure the allocation of budget and human resources is recognized for the implementation of the BP which is drafted. In the meantime, the feasibility of BP itself needs to be carefully examined taking account of the resource availability. In order to enhance the sustainability of the CITC, further efforts are suggested to be taken to ensure that the operations of the CITC are well aligned with the policy directions of MONRE and TGO.

### (2) Strategic response to emerging needs and agendas.

More attention is suggested to be paid to the effort to meet evolving needs of potential clients, taking account of the changes in circumstances and emerging agendas under the UNFCCC and other relevant fora. The Project has been making effort to establish national and international networking with various stakeholders/organizations regarding climate change mitigation/adaptation. Further collaboration with stakeholders to match supporting resources and assistance needs is important for sustaining the CITC activities. With this respect, the networking effort is suggested to advance in a well-targeted and strategic manner. It was also suggested by TGO side that promotion and outreach activities are essential especially for the local people in Thailand to raise their awareness on climate change issues.

Based on the results of the interviews, the following recommendations are also given for further improvement of the Project: It is expected that CITC staff will enhance capabilities in planning/implementing of training courses such as course designs and training management. Further efforts are also suggested to fill the observed gap between the views by the Japanese expert team and those by Thai C/P concerning the level of their mutual communication.

End

③

Pr

Annex 1 Mid-term Review Schedule

Date (day)	Activities
January 4 (Sun)	【Ms. KAKINUMA】 Arrival in Bangkok (15:45, TG641)
January 5 (Mon)	Meetings with Project Experts and Counterparts (JICA Expert team and TGO) <ul style="list-style-type: none"> <li>10:30-12:00: JICA Experts (Mr. Yoshida, Mr. Morimoto and Mr. Iemoto)</li> <li>14:30-15:45: CB team members (Ms. Natchanan Wathanachinda, Ms. Natteera Kanjawatkul and Ms. Benya Puntub)</li> </ul>
January 6 (Tue)	Meetings with Counterparts (CB team and other TGO officials) <ul style="list-style-type: none"> <li>10:50-12:50: Dr. Jakkanit Kananurak, Director, CB team</li> <li>13:00-16:00: CB team members (Ms. Narreerat Thanaksen, Ms. Apapatch Hunsirtrakum, Ms. Chayathorn Thanawattanadamrong)</li> </ul>
January 7 (Wed)	Meeting with Counterparts and Stakeholders <ul style="list-style-type: none"> <li>9:30 –10:30: Observation of procured equipment for the Project from Japan and facilities in CITC</li> <li>10:30-13:00: JICA Experts (Mr. Yoshida, Mr. Morimoto and Mr. Iemoto)</li> <li>14:00-15:00: Prof. Dr. Sirinthonthep Towprayoon, JGSEE-KMUTT</li> <li>15:30-16:30 Ms. Prasertsuk Chamornmarn, Chief Executive of TGO</li> </ul>
January 8 (Thu)	Meeting with Stakeholders <ul style="list-style-type: none"> <li>10:00-11:00: Prof. Dr. Vilas Nittivattananon, AIT</li> <li>15:00-16:45: Mr. Vijai Amaralikit, President of the Environment Sub-committee, The National Municipality League of Thailand (NMT) and Ms. Tharee Kamuang, Project Manager of Low Carbon Municipality</li> </ul>
January 9 (Fri)	Meetings with Project Experts and Counterparts (JICA Expert team and TGO) <ul style="list-style-type: none"> <li>10:00-11:00: Ms. Neeracha Tridech, GHG Mitigation Technical Support team, TGO</li> <li>13:30-14:45: Ms. Wararat Cha-umkrea, Greenhouse Gas Information Center, Ms. Phakamon Supappunt, Carbon Business Office and Ms. Bussabongkot Deewasa, Assistant Senior Official, Strategy Office, TGO</li> </ul>
January 10 (Sat)	Documentation
January 11 (Sun)	Documentation <ul style="list-style-type: none"> <li>14:00~15:00: Meeting with Mr. Fujimoto, JICA Expert team leader</li> </ul> 【Mr. Usui】 Arrival in Bangkok (16:00, JL031) <ul style="list-style-type: none"> <li>Meeting with Mr. Usui</li> </ul>

3

P



Annex 1 Mid-term Review Schedule

January 12 (Mon)	Discussions on MM (Midterm-review Report) <ul style="list-style-type: none"> <li>16:00~ Meeting with JICA Expert (Ms.Fujimori)</li> </ul> 【Mr. FUKASE】 Arrival in Bangkok (16:00, JL031) 【Mr. KAWANISHI】 Arrival in Bangkok(16:35, TG434)
January 13 (Tue)	Discussions on MM (Midterm-review Report)
January 14 (Wed)	Discussions on MM (Midterm-review Report) <ul style="list-style-type: none"> <li>10:00-12:00: Meeting with TGO Executives (Mrs. Prasertsuk and Dr. Jakkanit)</li> </ul>
January 15 (Thu)	Signature of MM (Midterm-review Report) 13 : 30 : Meeting with ONEP Meetings at JICA Office
January 16 (Fri)	【Mr. KAWANISHI】 Departure from Bangkok (8:20, TG433) 【Mr. FUKASE and Mr. USUI】 Departure from Bangkok (9:55, JL032) 【Ms. KAKINUMA】 Departure from Bangkok (22:35, TG640)

## Annex 2 Training in Japan

### 1) Capacity Development for Establishment of CITC (1)

#### a) Period

2013/11/25-2013/12/7

#### b) Participants

	Name	Position (at the time of training)
1	Dr. Jakkanit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, Thailand Greenhouse Gas Management Organization (TGO)
2	Dr. Natarika Wayuparb	Director, Strategy Office, TGO
3	Ms. Natchanan Wathanachinda	Assistant Senior Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
4	Ms. Wiriya Puntub	Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Ms. Benya Nuengdee	Official, Capacity Building and Outreach Office, TGO
6	Ms. Bussabongkot Deewaja	Assistant Senior Official, Strategy Office, TGO
7	Ms. Phakamon Supappunt	Senior Official, Carbon Business Office, TGO
8	Ms. Neeracha Tridech	Assistant Senior Official, Approval and Monitoring Office, TGO
9	Ms. Wararat Cha-umkruea	Assistant Senior Official, Greenhouse Gas Information Center, TGO

### 2) Capacity Development for Establishment of CITC (2)

#### a) Period

2014/1/15-2014/1/22

#### b) Participants

	Name	Position (at the time of training)
1	Mr. Sunthad Somchevita	Chairman of the Board of Directors, TGO
2	Dr. Damrong Sripraram	Member of the Board of Directors, TGO
3	Ms. Prasertsuk Chamornmarn	Deputy Executive Director and Acting Executive Director, TGO
4	Dr. Jakkanit Kananurak	Director, Capacity Building and Outreach Office, TGO
5	Mr. Sakol Thinagul	Deputy Director General, Department of Environmental Quality, Promotion, Thailand (DEQP), Ministry of Natural Resources and Environment (MONRE)
6	Dr. Jirapa Inthisang Trochim	Division Director, Office of Agriculture Economics (OAE), Ministry of Agriculture and Cooperatives

2

P

### Annex 3 Provision of equipment

The equipment requested by TGO as stipulated in the Minutes of Meeting of Inception Report has been provided to Thai side in 2013 as shown below.

TV monitors were provided during the dispatch period of JICA Expert Team in 2014.

Table Equipment to Thai side

Item	Specifications	Number of unit
Laptop computer	Dell Vostro 3360 Microsoft Windows 7 Professional SP1 32bit MS Office trial McAfee Security Center 15 month subscription	2 units
Scanner	N6310 HP Scanjet N6310 Document Flatbed Scanner (L2700A)	1 unit
LCD projector (for electronic active board)	GYGAR LW24	1 unit
Electronic active board	GYGAR E-7881	1 unit
Video recorder sets (camera for recording)	6094B003AA HF M56(EU)	1 unit
TV monitor sets (2014)	TV LED 48" SONY KDL-48R470B	2 units
Total	-	-

3

P

# Annex 4 Counterpart Personnel

## TGO Counterpart List

No	Name	Current Title	Department
1	Ms. Prasertsuk Chamornmarn	Executive Director	-
2	Dr. Natarika Wayuparb	Deputy Executive Director	-
3	Dr. Jakkani Kananurak	Director	Capacity Building and Outreach Office
4	Ms. Nareerat Thanakasem	Assistant Senior Official	Capacity Building and Outreach Office
5	Ms. Chanyaphak Wathanachinda	Assistant Senior Official	Capacity Building and Outreach Office
6	Ms. Apapatch Hunsirtrakun	Assistant Senior Official	Capacity Building and Outreach Office
7	Ms. Natteera Kanjawatkul	Official	Capacity Building and Outreach Office
8	Mr. Thitipong Piboolgulsamlit	Official	Capacity Building and Outreach Office
9	Ms. Benya Nuengdee	Official	Capacity Building and Outreach Office
10	Mr. Pisanupon Sanguannual	Manager	Strategy Office, TGO
10	Ms.Sithanee Yuthasinsawee	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
12	Ms. Chayathorn Thanawattanadamrong	Researcher	Capacity Building and Outreach Office
13	Mr.Siripong Kertsawang	Administrator	Capacity Building and Outreach Office
14	Mr. Nutch Rotjanasom	Project coordinator	Capacity Building and Outreach Office
15	Dr. Paweena Panichayapichet	Assistant Senior Official	Approval and Monitoring Office
16	Ms. Anna Kiewchaum	Assistant Senior Official	Approval and Monitoring Office
17	Ms. Sumon Sumetchoengprachya	Assistant Senior Official	Carbon Business Office
18	Ms.Pakamon Supappunt	Assistant Senior Official	Carbon Business Office
19	Mr.Thada Varoonchotikul	Assistant Senior Official	Carbon Business Office
20	Mr .Chessada Sakulku	Director	Greenhouse Gas Information Center

9

Pm



Annex 5 Progress of Training Programs

Course title	Target group	Training Needs Assessment	Curriculum Development and Material prepared by	Training Program (Number of participants)
GHG Inventory (GHGI)	Thai Central government	Questionnaire survey was conducted in August 2013 and workshop was held in November 2013 for implementers.	Curriculum and material for "GHG Inventory management for central government implementers" were developed by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University). Curriculum was reviewed by GIO in 2013.	Training program of "GHG Inventory management for central government implementers" was conducted in August 2014 by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University). (32 participants)
GHG Inventory (GHGI)	Thai Local government	TBD	TBD	TBD
Low Carbon and Resilience Society Development (LCRS)	Thai Central government	Questionnaire survey was conducted in June 2013 and workshop was held in September 2013 for both decision makers and implementers	TBD	TBD (Planning to implement in 2015)
Low Carbon and	Thai Local	Participatory	"LCRS for local leaders" and	Training program of "Low Carbon

3

Annex 5 Progress of Training Programs

Resilience Society Development (LCRS)	government	workshop was held August 2013 and October 2014 for local government practitioners.  Workshops in 4 region (North, South, East and West) in Thailand were held in November 2014 (405 participants) for Thai local government executives and practitioners.	"LCRS for local practitioners" were developed by TGO, JICA Expert team and Thai experts (King Mongkut's University of Technology Thonburi (JGSEE-KMUTT) and Asian Institute of Technology (AIT)).	and Resilient Society Development" was conducted in December 2014 and 29 participants attended.
Mitigation Mechanisms (MM)	Thai Local Government	- Questionnaire survey was and workshops in 4 region (North, South, East and West) in Thailand	TGO requested Chiang Mai University to develop curriculum and training material of mitigation activities in Thailand.	TBD (Planning to implement in 2015)

4



Annex 5 Progress of Training Programs

		were held in November 2014 (405 participants) for Thai local government executives and practitioners.		
Mitigation Mechanisms (MM)	ASEAN participants	TBD	"Mitigation Mechanism" topic was discussed by TGO and JICA Expert team. Draft curriculum was already developed by JICA Expert team.	TBD (Planning to implement in 2015)
Sustainable GHG Management (Climate Finance)	TBD	TBD	"Climate Finance" topic was discussed by TGO and JICA Expert team. JICA Expert team will develop the curriculum.	TBD
Sustainable GHG Management (Climate Change and Economics)	Government officers	Questionnaire survey was conducted in August 2014.	"Climate Change and Economics" topic was discussed by TGO and subcontracted Thai experts	TBD (Planning to implement in 2015)

Annex 5 Progress of Training Programs

			(Thammasat University.) Thai experts are now developing curriculum and training materials.	
TTT course on GHGI	Thai Central government	-	"GHG Inventory Management for central government implementers" was developed by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University).	TTT course on GHG Inventory Management for central government implementers" was conducted by subcontracted Thai experts (Chiang Mai University) and 15 trainers were trained.
TTT course on LCSR	Thai Local government	-	"LCSR for local practitioners" were developed by TGO and JICA Expert team	TTT course on Low Carbon Resilience Society development course was conducted by TGO and 9 trainers were trained in December 2014 as well.
GHG Inventory	ASEAN participants	Questionnaire survey and workshop were conducted in August 2014.	TBD	TBD
LCSR	ASEAN participants	Questionnaire survey and workshop were conducted in May 2014.	TBD	TBD

Annex 5 Progress of Training Programs

Training in Japan	Director and officials of TGO, high-ranking officials from TGO and relevant agencies	Training needs were assessed in the discussion by TGO and JICA Expert team	TGO and JICA Expert team developed a training program.	Training programs in Japan were organized in twice. "Preparation for establishment of climate change international technical and training center" in November and December 2013 (9 participants) "Visit to Japan for establishment of climate change technical training center" in January 2014 (6 participants)
-------------------	--	--	--	--

## 2. 収集資料リスト

番号	タイトル	発行先	発行年	備考
1	CITC Business Plan (2014-2018) Version 01.1	TGO	15 Dec 2014	電子ファイル及び印刷物
2	CITC (leaflets)	TGO/CITC	2014?	2 種類の広報資料
3	Expense spent by TGO	TGO	2015	プロジェクトに対する TGO 側歳出表（オリジナルハードコピー）と PDF
4	Training Evaluation	プロジェクト事務所	2014	2014 に実施された「LCS 地方実務者と TTT 研修の評価結果」電子ファイル
5	成果品ファイル	プロジェクト事務所	2014	これまでに作成された研修教材等の電子ファイルのフォルダー
6	進捗報告書	プロジェクト事務所	2014	英語版プロGRESSレポートの電子ファイルのフォルダー
7	定例ミーティング	プロジェクト事務所	2014	ハイレベル定例会議事録の電子ファイルのフォルダー
8	Agenda 及び meeting memo 等	プロジェクト事務所	2014	作業部会の会議メモの電子ファイルのフォルダー
9	Japanese Inputs	プロジェクト事務所	2015	プロジェクトに対する日本側投入（C/P ファンド、機材）の電子ファイルのフォルダーと印刷物（オリジナル）
10	Progress of Training	プロジェクト事務所	2015	研修コースの進捗状況（合同評価報告書の Annex 5）
11	TGO 名簿	TGO(プロジェクト事務所)	2015?	TGO Capacity Building and Outreach Team 等の関係者名簿（オリジナルハードコピー）

「タイ国 東南アジア地域気候変動緩和・適応  
能力強化プロジェクト」  
中間レビュー調査（評価分析）評価グリッド

1. 実績の検証

評価設問		必要な情報・データ	情報源・指標の入手手段	データ収集方法	現在までの結果
大項目	小項目				
上位目標達成の見込み	気候変動国際技術研修センター（CITC）が ASEAN 地域の気候変動研修に関して研修センターとして認知され、ネットワークキングの基盤（プラットフォーム）として機能する	1. ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した地域研修やセミナーが CITC によって持続的に実施される	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者による研修とセミナーに対する評価シートの確認</li> <li>タイ国側関係機関（TGO 等）</li> <li>ASEAN 開発途上諸国の関係機関</li> <li>日本人専門家</li> <li>詳細計画策定調査報告書、R/D、業務報告書、JCC 報告書</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	
プロジェクト目標の達成見込み	タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズに合致した研修プログラムが開発され、タイ国温室効果ガス管理機構（TGO）の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される	1. CITC ために研修管理、知的貢献、ロジスティクスシステムが構築される。 2. 研修プログラム開発及び実施のために関係機関との協力が持続する	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の進捗報告書による指標達成状況の確認</li> <li>タイ国側関係機関（TGO 等）</li> <li>ASEAN 開発途上諸国の関係機関</li> <li>日本人専門家</li> <li>詳細計画策定調査報告書、R/D、JCC 報告書</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	*2014 年 5 月 ASEAN ワークショップにおいて CITC 設立を周知し（CITC 設立宣言）、ASEAN 全体における「低炭素社会構築」テーマに関する研修ニーズの特定を行った。 *上記ワークショップ終了後、参加者による開催内容に関する評価結果は概ね良好であった。（参加者：全体 117 名、ASEAN 諸国関係者：15 名、ASEAN 事務局：2 名、TGO：2 名、JICA 専門家チーム：9 名）
アウトプットの達成状況	アウトプット 1：TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立準備がなされる	現在までの進捗状況、実績、今後の活動計画、活動実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の進捗報告書</li> <li>タイ国側関係機関（TGO 等）</li> <li>ASEAN 諸国関係機関</li> <li>日本人専門家</li> <li>詳細計画策定調査報告書、JCC 報告書</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	アウトプット 1 *CITC ビジネスプランの改定を行い、第 2 回 JCC で関係者に共有された。同プランが TGO 理事会で承認される？ *2014 年 5 月にパタヤで開催された第 1 回 ASEAN ワークショップにおいて「低炭素社会構築」に関する研修ニーズ調査を実施した。

					<p>*2014 年 8 月にバンコクで開催された第 12 回アジア温室効果ガス（GHG）インベントリワークショップで「GHG インベントリ管理」テーマに関する研修ニーズ調査を実施した。（参加者：全体 68 名 ASEAN 諸国：15 名、TGO：10 名、JICA 専門家チーム：6 名）</p> <p>* 研修プログラムの策定を行った（「GHG インベントリ管理」；「中央政府の実務者コース」、「低炭素社会（LCS）構築」；「地方政府の政策策定者コース」「地方政府の実務者コース」）</p> <p>* 上記 3 つの研修コースについてタイ/国外関係者との研修テーマごとの教材共同開発を行った。</p> <p>* 緩和メカニズムに関するカリキュラム作成中。</p> <p>* 情報プラットフォームに関する仮のポータルサイトを開設し、最新情報をアップデートした。</p> <p>* 「緩和メカニズムコース」、「持続可能な GHG コースのカリキュラム作成中」</p>
	<p>アウトプット 2： TGO とタイの関係機関によって適応/緩和に関する研修が実施される</p>				<p>アウトプット 2</p> <p>*2014 年 8 月「中央政府実務者向け GHG インベントリ管理コース」のデモンストレーション研修を実施した。32 名が参加。</p> <p>*2014 年 8 月トレーナー訓練を実施し 15 名のトレーナー候補が受講した。</p> <p>*2014 年 9 月「中央政府リーダー向け GHG インベントリ管理コース」を実施した。</p>
	<p>アウトプット 3： 適応/緩和に関する研修プログラムが ASEAN 諸国の中で共有される</p>				<p>*国際会議（タイ、日本、インドネシアカンボジア）に情報の発信（2014 年 8 月までに合計 9 回？）を実施し、研修ニーズの把握等を行った。</p> <p>*2014 年 5 月 ASEAN ワークショップにおいて CITC 設立を周知し、ASEAN 全体における「低炭素社会構築」テーマに関する研修ニーズの特定を行った。</p>



					<p>*上記ワークショップ終了後、参加者による開催内容に関する評価結果は概ね良好であった。(参加者：全体 117 名、ASEAN 諸国関係者 15 名、ASEAN 事務局 2 名、TGO 2 名、JICA 専門家チーム 9 名)</p>
タイ側の投入実績	人材	・ カウンターパート (C/P) の配置 (人数、専門性、配置の変遷等)	・ 詳細計画策定調査報告書、討議議事録 (R/D)、年次活動計画書業務/報告書、日本人専門家、C/P	資料レビュー・聞き取り・質問票、観察	<p>*R/D には 17 名が C/P リストに掲載されている。</p> <p>*能力構築アウトリーチオフィスでは、プロジェクト開始時の 5 名の内、2 名退職、1 名産休で合計 2 名になった。その後、新たに 2 名を TGO の他の業務から移動、2 名を新規採用し合計 6 名である。</p>
	施設・建物	・ 専門家の活動に必要な事務所スペース及び施設			<p>*専門家の執務室及び機材？</p>
	実施・管理等の費用：ローカルコスト負担	・ C/P 活動費用や事務所維持管理にかかる光熱費、通信費等の拠出			<p>*TGO は 2013 年度 (2012 年 10 月開始) に CITC 準備予算として 100 万バツ (約 250 万円) を確保していた。</p>
日本側の投入実績	専門家の派遣・配置	・ 長期専門家：派遣分野、人数・回数・期間等	・ R/D と実績の比較、詳細計画策定調査報告書、年次活動計画書/業務報告書、専門家、C/P	資料レビュー・聞き取り・質問票、観察	1 名？
		・ 短期専門家：派遣分野、人数・回数・期間等			<p>9 名？ (合計？MM) ①総括/気候変動対策、②低炭素開発 1、③低炭素開発 2/緩和策 2/研修計画 3、④GHG インベントリ、⑤適応策/緩和策 1、⑥研修計画 1、⑦研修計画 2/研修マネジメント 2、⑧業務調整/研修マネジメント 1、⑨ビジネスプラン作成</p>
	経費：ローカルコスト負担	・ 金額、内容、タイミング			
	機材供与	・ 内容、数量、時期、			2014 年度テレビモニター 2 台
	本邦研修	・ 内容、人数、時期			<p>*2013 年 11 月 25 日～12 月 7 日：一般研修「気候変動対策国際研修センターの実施体制枠組構築及び研修運営コース」9 名参加。</p> <p>*2014 年 1 月 15 日～22 日：準高級研修「気候変動対策国際研修センター設立コース」6 名参加。</p>

	<p>第三国・国内等の研修・ワークショップ、国際学会</p>	<p>・ 研修内容・開催時期、タイ及び ASEAN 諸国からの参加者、成果の評価等</p>		<p>           *2014 年 2 月：インドネシア ASEAN 事務局及び環境省訪問            *2014 年 2 月：カンボジア 低炭素社会国際研究ネットワーク (LCS-RNet) 会合            *2014 年 4 月：インドネシア 第 5 回 ASEAN 気候変動ワーキンググループ会議            *2014 年 5 月：タイ（パタヤ）CITC 設立記念イベント及び低炭素社会に関する東南アジア地域研究ニーズアセスメント（TNA）ワークショップ（第 1 回 ASEAN ワークショップ）            *2014 年 7 月：日本（横浜）第 6 回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム            *2014 年 7 月：日本（東京）環境省地球環境局、一般社団法人海外環境協力センター（OECC）との面談            *2014 年 8 月 タイ（バンコク）第 12 回アジアにおける GHG インベントリ整備に関するワークショップ            *2014 年 8 月 タイ（バンコク）ASEAN 諸国における GHG インベントリ整備に向けた能力開発の役割に関する ASEAN 諸国ワークショップ            *2014 年 8 月 タイ（バンコク）東南アジア気候変動ネットワークオフィス気候ファイナンスワークショップ         </p>
--	--------------------------------	---	--	--

## 2. 実施プロセス

評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法	現在までの結果
大項目	小項目				
活動実施状況	活動は計画通りに実施されたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施時期</li> <li>・ 達成度・進捗状況</li> <li>・ 進捗に影響を与えた問題・制約要因等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次活動計画/業務報告書、専門家、C/P、プロジェクト・デザイン・マトリックス／活動計画 (PDM/PO)</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	<p>＊2013 年 11 月に発生した反政府デモの影響やその後の政変によりプロジェクト活動の延期があった。</p> <p>＊プロジェクト開始前の R/D 並びにプロジェクト開始時の実施計画において TGO と JICA で合意した内容から、CITC を取り巻く環境やニーズの変化、競合の出現などの外部要因によって、臨機応変に方向を修正しながら進めていかざるを得ない状況になっている。</p>
プロジェクトの実施体制	マネジメント体制は適切に機能しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意思決定の方法（必要な関係者の参加、適切なタイミング等）</li> <li>・ 指示系統と機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次活動計画/業務報告書、専門家、C/P、JICA タイ事務所</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	
	関係者間のコミュニケーションは適切にとられているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報交換/コミュニケーションの方法・頻度〔合同調整委員会（JCC）、進捗報告、定例会議等各種会合の開催実績〕</li> <li>・ 共有された情報の内容等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次活動計画/業務報告書、JCC 報告書、専門家、C/P、JICA タイ事務所</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	
	実施機関や C/P のオーナーシップは十分か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C/P や活動参加者の参加度</li> <li>・ 投入実績</li> <li>・ タイ国側担当事項の実施状況、活動主体性への意思</li> <li>・ 課題や制約要因</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次活動計画/業務報告書、専門家、C/P、JICA タイ事務所</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	
	プロジェクトの進捗モニタリングは適切に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリングの方法・頻度</li> <li>・ モニタリング結果が関係者間で共有され次の活動への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次活動計画/業務報告書、専門家、C/P、JICA タイ事務所</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	<p>＊2014 年 7 月の第 2 回 JCC においてプロジェクトの進捗状況について説明し、議論を行い内容に合意された。</p>
技術移転の方法	技術移転の達成目標・手法が明確か、方法に問題はないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C/P に対する技術移転の達成目標、手法、達成状況、満足度、課題</li> <li>・ ASEAN 諸国の研修生への技術移転方法、達成状況、満足度、課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細設計報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	<p>＊2014 年 8 月 TGO の能力構築アウトリーチオフィスの、プロジェクト開始時と比較したキャパシティ分析を行った。</p>
ターゲットグループや関係組織の参加度・認識	タイ国側関係者はプロジェクトの活動に十分に参加しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各関係者の活動への参加方法・頻度</li> <li>・ 参加実績</li> <li>・ 活動上の課題等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P、研修にかかわる関係機関</li> </ul>	資料レビュー・開 取り・質問票	<p>＊2014 年 7 月の第 2 回 JCC に参加機関から 34 名参加した。</p> <p>＊研修コースやカリキュラム作成に TGO の意見を反映？</p>

PDM/ PO の改訂	PDM/PO の改訂は適切なプロセスで行われたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PDM/PO 作成・計画策定のプロセス</li> <li>・ 改訂内容</li> <li>・ 関係者の理解度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P、JICA タイ事務所、JCC 報告書</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	*2014 年 7 月第 2 回 JCC の際に PDM の改定が承認された。ただし、記述の微修正でプロジェクトの運営には影響しない。
	当初の目的や現状に鑑みた適切な活動・目標等の修正がなされたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の PDM/PO のプロ目の指標・成果の指標（目標値を含む）の適切さ</li> <li>・ 計画された活動、投入など内容は適切さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P、JICA タイ事務所、JCC 報告書</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	
その他、実施過程で生じている問題、効果発現に影響を与えた要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細計画調査以降、現時点までに何らかの課題が生じているか</li> <li>・ 生じた課題に対してどのように対処しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画された活動の実施状況・インパクト等</li> <li>・ 課題の現状・課題への対処状況</li> <li>・ 今後の活動への影響や見通し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細計画策定調査報告書、事前評価票、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	<p>*2013 年 11 月に発生した反政府デモの影響やその後の政変によりプロジェクト活動の延期があった。</p> <p>*プロジェクト開始前の R/D 並びにプロジェクト開始時の実施計画において TGO と JICA で合意した内容から、CITC を取り巻く環境やニーズの変化、競合の出現などの外部要因によって、臨機応変に方向を修正しながら進めていかざるを得ない状況になっている。</p>

### 3. 評価5項目

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法	現在までの結果
	大項目	小項目				
妥当性	必要性・	プロジェクトはタイ国の対象分野のニーズに合致しているか、詳細設計調査で確認された必要性の状況に変更はないか  タイ国の開発政策との整合性はあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイ国の国家計画・政策、分野政策、分野のニーズや最新の動向・課題（同国の気候変動対策「タイ王国気候変動マスタープラン 2011～2050」及び、最新の政策・計画との整合性）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P</li> </ul>	資料レビュー・開取り・質問票	<p>*2008年に気候変動対応国家戦略が策定され、更にタイ気候変動マスタープラン（2012～2050）を策定中？である。</p> <p>*2011年8月のASEAN諸国を対象とした「気候変動緩和と低炭素社会」という会合で、ASEAN各国における気候変動対策の推進においては交通する能力強化ニーズもみられることから、ワンストップ研修センターとしてのCITCの重要性が確認された。</p>
		日本の政府開発援助（ODA）政策と合致しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の援助政策/国別援助計画との整合性</li> <li>JICAの同国国支援実施計画との整合性</li> <li>「世界低炭素成長ビジョンー日本の提言」等</li> <li>気候変動サミットでの公約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対タイ国別援助計画</li> <li>JICAタイ事務所</li> </ul>		<p>*日本政府が2011年11月に発表した「世界低炭素成長ビジョンー日本の提言」において、途上国支援の一環として人材育成を重視することが謳われている。</p> <p>*国別援助計画の重点分野には、環境・気候変動及びASEAN域内協力も含まれている。</p> <p>*JICAは「温室効果ガスの削減に係る組織能力強化プロジェクト」（2010～2012）、「バンコク都気候変動削減・適応実効力プロジェクト」（2007～2012）等を実施した。また、ASEAN諸国に対してもインドネシア「気候変動対策能力強化プロジェクト」等を実施し、低炭素アジア研究ネットワーク（LoCARNet）を通じて低炭素成長の研究、人材育成に貢献している。</p> <p>*2014年9月24日気候変動サミットにおいて安倍総理が、14,000</p>



						人の人材育成を公約した。(CITC 参加人数の確認)
手段としての適切性	プロジェクトの内容・デザイン・アプローチは開発課題に効果を生む手段として妥当か	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトの内容・デザイン・アプローチの妥当性</li><li>当初計画からの変更（変更の適切性）と変更後の達成の検証</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P</li></ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	＊「東アジア低炭素成長パートナーシップ」の下で、国立環境研究所（NIES）、地球環境戦略研究機関（IGES）、JICA の 3 機関が途上国による低炭素かつ適応力ある戦略の作成・実施を支援するために開発「東アジア低炭素なエッジ・プラットフォーム」構想を提唱している。 ＊C/P より能力開発（CD）支援として更に高度で専門的な知見の共有とワークショップ開催のニーズが挙げられた（①AIM モデル、②C/P 内のインベントリ作成事務担当者及び関係機関の CD 支援）。	
	ターゲットグループの選定は適切かつ十分であったか	<ul style="list-style-type: none"><li>対象ターゲットの選定にかかる当初計画からの変更と変更後の達成の検証</li></ul>			＊TGO とは前フェーズの技術協力プロジェクトにおいて緩和分野の研修教材・カリキュラムを開発している。	
	日本の技術の優位性	<ul style="list-style-type: none"><li>日本の経験・蓄積・技術の活用・移転状況</li></ul>			＊他の競合する研修センターとの差別化に資するためにも、JICA 専門家チームのみならず、日本の関係機関と連携し、戦略的にプロジェクトを実施する必要がある。	
その他	政府による関連事業、他ドナー・非政府組織（NGO）によるプロジェクト、他の JICA 事業等との連携・デマケは明確に示されているか、相乗効果が生じているか	<ul style="list-style-type: none"><li>政府のその他の取り組み</li><li>米国国際開発庁（USAID）、ドイツ国際協力公社（GIZ）等の他ドナー・NGO による事業</li><li>JICA の他案件と本件との関連性</li><li>他ドナーや他案件との連携による活動の実施状況</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P、他ドナー・NGO・JICA 事業の関連文書・活動内容</li></ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	＊USAID とアジア工科大学院（AIT）との低炭素開発プログラムの協力の状況。 ＊GIZ が運輸分野で CITC を支援開始した。	

		プロジェクト開始後、プロジェクトを取り巻く環境(制度・政策面、社会・経済動向等)の変化はないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施機関の組織変革</li> <li>・プロジェクトの位置付けの変化</li> <li>・他ドナー・NGO による類似プロジェクトの開始の有無</li> <li>・社会・経済状況の変化等</li> </ul>			* タイ政府に対する反政府デモと政権交代の影響
有効性	プロジェクト目標の達成見込み	プロジェクト目標は達成が見込まれるか、その貢献要因は何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績の検証結果</li> <li>・日本人専門家、C/P 等の関係者の意見</li> <li>・開催された研修コース</li> <li>・研修に対するタイ国（中央政府・地方政府）及び ASEAN 諸国の反応と支援体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P、JCC 報告書</li> <li>・実績の検証結果</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票	<p>*2014 年 5 月 ASEAN ワークショップにおいて CITC 設立を周知し、ASEAN 全体における「低炭素社会構築」テーマに関する研修ニーズの特定を行った。</p> <p>*上記ワークショップ終了後、参加者による開催内容に関する評価結果は概ね良好であった。（参加者：全体 117 名、ASEAN 諸国関係者 15 名、ASEAN 事務局 2 名、TGO 2 名、JICA 専門家チーム 9 名）</p>
		プロジェクト目標達成を阻害する要因・リスクは何か				<p>*R/D には 17 名が C/P リストに掲載されている。</p> <p>*能力構築アウトリーチオフィスでは、プロジェクト開始時の 5 名の内、2 名退職、1 名産休で合計 2 名になった。その後、新たに 2 名を TGO の他の業務から移動、2 名を新規採用し合計 6 名である。</p>
	質の高い研修をしているか	CD の成果は出ているか				*2014 年 8 月 TGO の能力構築アウトリーチオフィスの、プロジェクト開始時と比較したキャパシティ分析を行った。（全般的に能力は向上している？）
	アウトプットとプロジェクト目標達成	C/P の能力向上がアウトプットに貢献しているか				

	成の因果関係	機材は活用されているか	・ 研修に活用された機材と頻度			
		新規技術習得を活用しているか	技術移転の研修内容			*JICA 専門家チームがポータルサイト構築に関する基礎知識及びコンテンツマネジメント等の技術移転を行った。
	アウトプットの産出	アウトプットは達成されているか、その貢献/阻害要因はなにか。	・ 実績の検証結果 ・ 日本人専門家、C/P 等の関係者の意見		資料レビュー・聞き取り・質問票	*能力構築アウトリーチオフィスでは、プロジェクト開始時の 5 名の内、2 名退職、1 名産休で合計 2 名になった。その後、新たに 2 名を TGO の他の業務から移動、2 名を新規採用し合計 6 名である。
		アウトプットを産出するために十分な活動であったか				
効 率 性	投入のタイミン グ・質・量	日本人専門家派遣人数、専門分野、派遣時期は適切か	・ 派遣実績表 ・ 関係者の意見 ・ 協力関係（NIEA, IGES, JICA）と役割分担	・ 詳細計画策定調査報告書、R/D、年次活動計画/業務報告書、日本人専門家、C/P、教材作成を再委託された大学 JICA タイ事務所、JCC 報告書 ・ 実績の分析	資料レビュー・聞き取り・質問票・観察	*2013 年に発生した反政府デモの影響により、12 月の現地作業及び ASEAN ワークショップの開催を延期した。また、2014 年 1 月もデモが継続し、渡航及び現地作業を見合わせ、国内で研修教材作成等を行った。
		供与機材の種類、量、設置時期は適切か	・ 機材実績 ・ 教材作成のリソース(IGES、タイの大学への再委託)の適正 ・ 利用/管理状況 ・ 関係者の意見（TGO のプロジェクトマネージャー、大学）			（*フェーズ 1 プロジェクトでは 5 科目について 14 セットの研修教材が開発され、本プロジェクトで既存の研修教材を活用し、ニーズ評価を踏まえて詳細な内容を精査する。） *IGES による教材作成 *現地の大学に「低炭素社会」コースの研修資料作成を再委託した。
		研修員受け入れ人数、分野、研修	・ 研修員受け入れ実績 ・ 関係者の意見			*2014 年 8 月「中央政府実務者向け GHG インベントリ管理コー

		内容、研修期間、受け入れ時期は適切か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材作成大学の意見</li> <li>・研修ニーズ（タイ国内と ASEAN）</li> <li>・研修ターゲット（共通ニーズ・テーマ）の絞り込みは適切か</li> <li>・気候変動に関する政府間パネル（IPCC）のインベントリ・ガイドライン反映状況（タイ中央政府 ASEAN 諸国）</li> </ul>			<p>ス」のデモンストレーション研修を実施した。32 名が参加。</p> <p>＊2014 年 8 月トレーナー訓練を実施し 15 名のトレーナー候補が受講した。</p> <p>＊2014 年 9 月「中央政府リーダー向け GHG インベントリ管理コース」を実施した。</p>
		C/P の人数、配置状況、能力は適切か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C/P の配置状況</li> <li>・関係者の意見</li> </ul>			
		建物、施設の規模、質、利便性に問題はないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物、施設の現状、機材配置状況</li> <li>・関係者の意見</li> </ul>			
		プロジェクトの予算は適正規模か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手側コスト負担実績</li> <li>・年間予算関係者の意見</li> </ul>			
		C/P の能力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術移転を受けた C/P の割合</li> <li>・日本人専門家の意見</li> </ul>			<p>＊2014 年 8 月 TGO の能力構築アウトリーチオフィスの、プロジェクト開始時と比較したキャパシティ分析を行った。（全般的に能力は向上している？）</p>
	他機関との連携	他の JICA プロジェクト、他ドナー、ASEAN 諸国、民間企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の関係機関（大学、ドナー等）関係者の意見</li> <li>・他の JICA プロジェクト：例 マレーシア「アジア地域の低炭素社会シナリオの開発（SATREPS）」等との協力関係</li> <li>・LoCARNet との協力</li> <li>・ASEAN 諸国との関係</li> <li>・日本の地方自治体との連携</li> </ul>	<p>年次活動計画/業務報告書、C/P、日本人専門家、JICA タイ事務所（プロジェクト）</p> <p>USAID 等他ドナー、ASEAN 諸国、民間企業</p>	<p>資料レビュー・聞き取り・質問票</p>	<p>＊2014 年 2 月：インドネシア ASEAN 事務局及び環境省訪問</p> <p>＊2014 年 2 月：カンボジア LCS-LoCALNet 会合</p> <p>＊2014 年 4 月：インドネシア 第 5 回 ASEAN 気候変動ワーキンググループ会議</p> <p>＊2014 年 5 月：タイ（パタヤ）CITC 設立記念イベント及び低炭素社会に関する東南アジア地域 TNA ワークショップ（第 1 回 ASEAN ワークショップ）</p> <p>＊2014 年 7 月：日本（横浜）第 6 回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム</p> <p>＊2014 年 7 月：日本（東京）環境省地球環境局 OECC との面談</p>

						<p>*2014年8月 タイ（バンコク）第12回アジアにおけるGHGインベントリ整備に関するワークショップ</p> <p>*2014年8月 タイ（バンコク）ASEAN 諸国における GHG インベントリ整備に向けた能力開発の役割に関するASEAN諸国ワークショップ</p> <p>*2014年8月 タイ（バンコク）東南アジア気候変動ネットワークオフィス 気候ファイナンスワークショップ</p> <p>*現地の大学に「低炭素社会」コースの研修資料作成を再委託した。</p>
	効率性を阻害した要因はあるか	外部条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会状況の変化等</li> <li>・ 関係者の意見</li> </ul>	<p>年次活動計画/業務報告書、JICA タイ事務所、C/P、日本人専門家</p>	資料レビュー・聞き取り・質問票	<p>*2013年11月に発生した反政府デモの影響やその後の政変によりプロジェクト活動の延期があった。</p> <p>*プロジェクト開始前のR/D並びにプロジェクト開始時の実施計画においてTGOとJICAで合意した内容から、CITCを取り巻く環境やニーズの変化、競合の出現などの外部要因によって、臨機応変に方向を修正しながら進めていかざるを得ない状況になっている。</p>
インパクト（見込み）	上位目標達成の見込み	プロジェクトの効果として上位目標の発現が見込まれるか。上位目標の達成を阻害する要因があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事後の評価でプロジェクトの効果として上位目標達成が見込めるか</li> <li>・ 上位目標の達成を阻害する要因の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細計画策定調査報告書、年次活動計画/報告書、日本人専門家、C/P</li> </ul>	資料レビュー・聞き取り・質問票・観察	
		上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象分野での経験・成果が今後に普及・発展するために必要な体制（人材・技術・制度・予算等）の見込み</li> </ul>			



	上位目標とプロジェクト目標の因果関係	プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は現時点においても正しいか、外部条件の影響はあったか	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部条件の有無、妥当性</li> <li>新たな外部条件の有無</li> </ul>			
		プロジェクト目標から上位目標に至るまでの新たな外部条件があるか				
		上位目標以外の正負のインパクトが見込まれるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策の策定、法律・制度・基準や実用への影響の有無</li> </ul>			
	波及効果・効果の持続性の有無	上位目標以外の正負のインパクトが見込まれるか プロジェクトが目指している効果はプロジェクト終了後も持続することが見込めるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成によるタイ国内及び ASEAN 諸国への影響の有無〔国の政策への反応、National Appropriate Mitigation Actions (NAMA) や Joint Crediting Mechanism (JCM) 作成の促進等〕</li> <li>LoCARNet との関係</li> <li>人材育成によるタイ国内及び ASEAN 諸国への気候変動対策に関する知見の普及</li> <li>総合的な要因分析の結果</li> </ul>			* LoCARNet のワークショップにて発表？
持続性（見込み）	政策・制度面	タイ国の気候変動対策の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、タイ国の政策支援、関連規制、法制度は整備される予定</li> <li>タイ国及び ASEAN 諸国への研修成果の広がり、実用化を支援する取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイ政府の政策、TGO 等の予算、年次活動計画/報告書、JICA タイ事務所、日本人専門家、C/P、民間企業等、対象地域の関係者（住民等）</li> </ul>	資料レビュー、聞き取り・質問票・観察	
	技術面	技術移転は定着しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>移転技術・知見の TGO での定着</li> </ul>			
		資機材の維持管理は適正に行われているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>資機材の活用度</li> <li>維持管理の頻度や状況</li> <li>管理要員の配置</li> </ul>			

		実施機関により 成果の普及・実用 化へのメカニズ ムはあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ全体及び ASEAN 諸国（技術研修機関等）への成果の普及、波及、実用化のメカニズムの有無</li> <li>・民間企業による実用化</li> </ul>			
	組織・財政面	協力終了後も効果を継続するための組織能力はあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制・人員配置、意思決定プロセス等</li> <li>・TGO ビジネスプランの持続性（財政計画）</li> </ul>			
		実施機関のオーナーシップは確保されつつあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ国側のプロジェクト実施計画、モニタリング体制</li> </ul>			
	環境社会配慮からみた持続性	環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動対応対策へ継続</li> </ul>			

**“The Project for Capacity Development on Mitigation/Adaptation for Climate Change in the Southeast Asia Region”**

**Mid-term Review Evaluation Grid**

2014/12/24

**1. Achievements**

Evaluation question		Required data/information • Indicator	Source of information	Means of collecting information	(Currently) Results
Main question	Sub-question				
Prospect of achievement of the Overall Goal	The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform.	1. Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Thai side (TGO and other institutes)</li> <li>• Japanese experts</li> <li>• Detailed planning study report, JCC Reports</li> </ul>	Documents review • Interviews	
	Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.	1. Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established. 2. Cooperation of related organizations is sustained for development and implementation of training programs.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Thai side (TGO and other organizations)</li> <li>• Japanese Experts</li> <li>• Detailed planning study report, JCC reports, Annual plans/reports</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<p>*Overall management system including organizational structure and role of each division under CITC as well as training management activities is defined in CITC Business Plan. The Business Plan also contains analysis on key services and their marketing plan and strategy.</p> <p>*Cooperation with related domestic organizations has been sustained and strengthened through close coordination and active participation to various training-related internal meetings in Thailand such as for technical sub-committees for training peer review.</p> <p>*Networks with international organizations have been significantly strengthened since the initiation of the Project through holding or attending various types of climate-change related international conferences and events in and out of Thailand. Networks with organizations in ASEAN countries and Japan, especially those from government sector and academic/research institutions has been particularly enhanced.</p> <p>*The Project has received technical advice from above-mentioned organizations in terms of training program development and training material development.</p>

Achievement of Outputs	Output 1 : CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relevant organizations	1-1 Structure of the CITC, mission statement and budge are described in CITC document. 1-2 Website-based knowledge platform of information dissemination is established. 1-3 Training materials (textbooks in Tai and English) are prepared for selected training courses.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Thai side (TGO and other organizations)</li> <li>• Japanese experts</li> <li>• Detailed planning study report, JCC reports, Annual plans/reports</li> <li>• Indicators on Plan of Operation and Ex-ante-evaluation report</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	Output 1 *Structure and mission are clearly defined in CITC Business Plan Budget issue was also analyzed in line with CITC marketing plan. Detailed budgeting needs to be further analyzed. (Business Plan for Climate Change International Technical and Training Center (CITC) Version01.1-2:5 years plan (2014-2018) *CITC website has been already established and launched, and the web address was announced to related stakeholders. Knowledge contents are yet to be finalized and uploaded to the website and overall structure and subjects in various formats are still under discussion. *Training materials for selected training courses have been developed (GHG inventory course and low carbon society development courses). Type of training materials (such as textbook, PPT material and others) varies depending on the target trainees. Some of the materials have been already transferred into English for quality check(review by Japanese side) and possibly for the use for international training courses (-Training programs and TTT program; 1)“Low Carbon Society Development for local practitioners” -Training materials; 1)Textbook and Power Point presentation materials for Low Carbon Society Development for local practitioners”(English and Thai translation) 2) Trainers manual for “GHG Inventory Management for central government implementers”(English translation)
	Output 2 : Trainings of Mitigation/ Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.	2-1 Trainers are developed for selected courses. 2-2 At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents.			Output 2 *As early December 2014, a training program has yet to be implemented under the Project; however, GHG inventory course, which was developed and conducted by outsourced Thai entity, has trained 15 trainers through TTT program.

					<p>* A questionnaire will be distributed to the upcoming training course held in late December in order to analyze the trainees' satisfaction level.</p>
	Output 3 : Capacity development program on Mitigation/ Adaptation are shared among ASEAN countries	3-1 Seminar/workshop/training is conducted for ASEAN developing countries			<p>Output 3</p> <p>*ASEAN Workshop was conducted in May 2014 where CITC training courses and relevant activities were shared with stakeholders in ASEAN countries.</p> <p>*In August 2014, GHG inventory workshop was held as back-to-back event with international inventory conference (WGIA), in which ASEAN stakeholders participated.</p> <p>*CITC information including overview of training programs was shared in various other events and seminars held in Japan, Southeast Asia (Thailand, Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore and Vietnam) and at the COP 20 side event in 2014.</p>
Input from Thai side	Human resources	<ul style="list-style-type: none"> <li>Assignment of C/P (number, expertise, allocation and so on)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R/D, Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires, Observation	<p>*17 C/P names are listed on the R/D of the Project.</p> <p>* At the inauguration time of the Project, 5 staff were allocated for the capacity development/outreach office. However, 2 of them resigned the job and one staff took a maternity leave and only 2 staff remained at the office. Therefore, 2 staff were transferred from other office in TGO, and newly 2 staff were hired. After that, another staff left and one was reinstated in the office. Currently, in total 6 staff belong to the office.</p>
	Facility/ Office space	<ul style="list-style-type: none"> <li>Office space for experts</li> </ul>			
	Expense : (Local costs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Running expenses necessary for the implementation of the Project</li> </ul>			<p>*TGO secured Bt1 million (about JPY 2.5 million) of the budget for FY2013 (starting from October 2012) in order to prepare CITC.</p>
Inputs from Japanese side	Dispatch of experts	<ul style="list-style-type: none"> <li>Long-term : Expertise, Number, Frequency, Duration</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R/D, Detailed planning study report, Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires, Observation	<p>*1 long-term expert (17M/M since July 2013) Climate Change Policies/Human Resources Development</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>Short-term : Expertise, Number, Frequency, Duration</li> </ul>			<p>*In total 9 short-term experts(36.5M/M):</p> <p>1)Team Leader/ Climate Change Policy</p> <p>2)Low Carbon Development 1</p> <p>3)Low Carbon Development 2/Mitigation Measures 2</p>



					/Curriculum Development 3 4)GHG Inventory 5)Adaptation Measures/Mitigation Measures 1 6)Curriculum Development 1 7)Training Management 2/Curriculum Development 2 8)Administrator/Training Management 1 9)Business Plan
	Expenses(Local cost)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Amount, details, timing</li> </ul>			*Grand total of Local Cost is THB 4,895,375. *In total THB 484,375 was spent by Long-term expert.(as of 30 September 2014) -Goods purchase expenses;THB52,112 -Transportation expenses; THB28,732 -Communication and Conveyance expenses;THB3,853 -Rental expenses; THB 4,049 -Miscellaneous expenses; THB2,553 -Airlines; THB 181,620 -Travel expenses; 211,456 *In total THB 4,411,000 was spent by Short-term Expert Team.(as of 31 December 2014) -Training cost(including expected cost for training in December) ;THB745,600 -Training material development;THB667,000 (including local consultant cost THB 399,000) -Workshop cost; THB 734,100 -Equipment for TGO: THB504,000 -Local cost (local staff, transportation and communication); THB 1,760,000 *Local consultant (The joint Graduate School of Energy and Environment, King Mongkut University of Technology Thonburi )was subcontracted for research and training material development for CITC training courses on low carbon society development topics for local government, including monitoring of mitigation actions and institutional management issues from May-December 2014. The cost was THB 399,000.
	Provision of equipment/machinery	<ul style="list-style-type: none"> <li>Amount, items, timing</li> </ul>			*Scanner (1unit), Notebook PC (2 units), LCD projector(1 unit), Electronic active board(1unit), Video

					recorder (1unit), TV monitor (2 units)
	Training and scholarship in Japan	• Course, number, timing			<p>*In total 9 participants attended to training program on “Capacity Development for Establishment of CITC (1)” from 25<sup>th</sup> November to 7<sup>th</sup> December in 2013.</p> <p>*In total 6 participants attended to training program on “Capacity Development for Establishment of CITC (2)” from 15 to 22 January in 2014.</p>
	Training in Thailand and other countries • workshop, international academic conference	• Course, timing, number of participants from Thailand and ASEAN countries, evaluation of outputs and so on			<p>*February 2014, visited ASEAN secretariat office and Ministry of Environment in Indonesia.</p> <p>*February 2014, participated LCS-LoCARNet meeting in Cambodia.</p> <p>*April 2014, participated 5<sup>th</sup> ASEAN Climate Change working group meeting in Indonesia.</p> <p>*May 2014, organized an event for launching CITC and workshop for Low Carbon Society TNA of East Asia in Pataya, Thailand.</p> <p>*July 2014, attended 6<sup>th</sup> International Forum on Sustainable Asia and Pacific in Tokyo, Japan.</p> <p>*July 2014, visited Global Environment Department of Ministry of Environment in Tokyo, Japan.</p> <p>*August 2014, participated “12<sup>th</sup> Workshop on Greenhouse Gas Inventories in Asia” in Bangkok.</p> <p>*August 2014, participated workshop on Capacity Development for GHG inventory management in ASEAN in Bangkok.</p> <p>*August 2014, participated workshop on Climate Change Office network climate Finance in Bangkok.</p>

## 2. Implementation Process

Evaluation question		Required data/information	Source of information	Means of collecting information	(Currently) Results
Main question	Sub question				
Implementation of activities	Have the activities been implemented according to the Plan?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Implementation timing</li> <li>• Achievements, progress of activities</li> <li>• Contributing or hindering factors</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<p>*The implementation of activities have been delayed due to the effects of anti-government demonstrations since November 2013.</p> <p>*The contents of activities have been required to amend from R/D and the Project implementation plan flexibly due to the change of important assumptions such as surrounding environment and needs of CITC, and also presence of rival institutions.</p>
Project implementation system	Dose management system of the Project work appropriately?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Decision making (necessary shareholders' participation, appropriate timing and so on)</li> <li>• A chain of command</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P, JICA Thailand Office</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	
	Is appropriate communication made by the stakeholders?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Methods and frequency of Sharing information/communication(holding JCC, progress/regular meetings)</li> <li>• Contents of shared information</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Detailed planning study report</li> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	
	Do implementation Institutes and stakeholder have enough ownership?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation</li> <li>• Achievement of input</li> <li>• Progress of implementation by Thailand's side, and ownership of activities</li> <li>• Hindering factors</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	
	Does the activity monitoring system work appropriately?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Method and frequency of monitoring</li> <li>• Sharing information about the results of monitoring among the stakeholders and reflect to next activities.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P, JICA Thailand Office</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	*The second JCC was held in July 2014, progress of the Project was explained by the Project, and the contents of discussion were approved by the stakeholders.
Methodology of Technical transfer	Is it clear the goal and methodology of technical transfer? Are there any problems?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Technical transfer to C/P (the goal, method, achievement, degree of fulfill and problems)</li> <li>• Technical transfer to the trainees from ASEAN developing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Detailed planning study report</li> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	*Comparative capacity Analysis of capacity development/outreach office in TGO was conducted in August 2014.

		countries(method, achievement, degree of fulfillment and problems)			
Participation and recognition of the Project from target group, organizations and stakeholders	Do stakeholders of Thailand participate the activities adequately?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Each stakeholder's procedure to participate the activities and frequency</li> <li>Performance of participation</li> <li>Problems</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Detailed planning study report</li> <li>Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> <li>Organization for practical application of outputs of the Project</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<p>*In total 34 participants attended to the second JCC from relative organizations in July 2014.</p> <p>*Training courses and curriculums have been prepared by the Project collaboration with TGO.</p>
Revise of PDM/PO	Has the process of revising PDM/PO been implemented appropriately?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Process of formulating PDM/PO and planning</li> <li>Revise of contents</li> <li>Degree of understanding of stakeholders</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Detailed planning study report, JCC reports</li> <li>Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> <li>JICA Thailand Office</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<p>*The PDM version 0 was modified and approved by the second JCC meeting in July 2014.</p> <p>*The modification applied to the PDM version 1.0 are minor changes in the PDM, and the changes do not impact project structure or component.</p>
	Are there any amendments of activities and outputs according to the actual conditions and initial objectives?	<ul style="list-style-type: none"> <li>Appropriateness of the Project Purpose, outputs and indicators on the present PDM/PO</li> <li>Appropriateness of planned input and activities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Detailed planning study report, JCC reports</li> <li>Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> <li>JICA Thailand Office</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	
Others (Contributing or hindering factors for activities)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Have there any problems after the Detailed Planning Study so far?</li> <li>How does the Project cope with the problems?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Progress of planned activities and impacts</li> <li>Problems and counter measures</li> <li>Prospect the future activities and impacts</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Detailed planning study report, Ex-ante-evaluation report, Detailed planning study report, JCC reports</li> <li>Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<p>*The implementation of activities have been delayed due to the effects of anti-government demonstrations since November 2013.</p> <p>*The contents of activities have been required to amend from R/D and the Project implementation plan flexibly due to the change of important assumptions such as surrounding environment and needs of CITC, and also presence of rival institutions.</p>

### 3. Five Evaluation Criteria

Evaluation Criteria	Evaluation Question		Required data/information	Information source	Means of collecting information	(Currently) Results
	Main question	Sub question				
Relevance	Needs	<p>Relevance to the sector which is needed from Government of Thailand</p> <p>Change of needs of Thai since Detailed planning study.</p> <p>Relevance to the Development Policies of Thai</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Thai's National Development Plan/Policy, needs, priority sector, trend and issue. (Consistency with the current policies for each sector, such as 'and so on)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Detail planning study report</li> <li>Annual plans/reports</li> <li>Japanese experts and C/P</li> </ul>	<p>Documents review, Interviews, Questionnaires</p>	<p>*The National strategic Plan on Climate Change was prepared (2008-2012) in 2008, and the Thailand's climate Change Master Plan (2011-2050) will be approved soon.</p> <p>*At the meeting on "Mitigation Measures against Climate Change and Low Carbon Society" for ASEAN countries August 2011, the importance of The Climate change International Training Center(CITC) was confirmed as "one stop training center" for mainly ASEAN developing countries in order to provide useful common knowledge through the trainings for capacity development.</p>
		<p>Consistency with Japanese ODA policy</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Consistency with Japanese Country Assistance Policy for Thailand</li> <li>Consistency with JICA's assistant Program in Thailand</li> <li>Japanese Prime Minister's pledged to assist human resource development at Climate Change Summit in 2014</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Japanese assistant policy for Thailand</li> <li>JICA Thailand Office</li> </ul>		<p>*Japanese government announced" Carbon Growth Vision –Japanese Suggestion" in November 2011, which mentions the importance of capacity development as a part of assistance for developing countries.</p> <p>*Country Assistance Policy for the Kingdom of Thailand states 'Although Thailand has become an upper-middle income country, it is still necessary to address domestic issues such as economic growth through enhancement of competitiveness, the environment and climate change, the aging society, and support for the socially vulnerable, in order to achieve sustainable social and economic development as well as flood control based on experience of the great flood in 2011", and also 'Thailand, located in the center of the Mekong Region, plays a center role in the establishment of the ASEAN Economic Community and is a key country for further development of the region.'.</p> <p>*At the Climate Change Summit in September 2014, Japanese Prime Minister pledged to assist human resource development of 14,000 people over</p>



						<p>the next three years in the area of climate change.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CITC mission (capacity development, information sharing on mitigation/ adaptation for Climate Change) is highly consistent with Strategic Objective of ASEAN Socio-Cultural Community Blueprint D10( Responding to Climate Change and addressing its impacts) in “Roadmap for an ASEAN Community (2009-2015)”, which states “Enhance regional and international cooperation to address the issue of climate change and its impacts on socio-economic development, health and the environment, in ASEAN Member States through implementation of mitigation and adaptation measures, based on the principles of equity, flexibility, effectiveness, common but differentiated responsibilities, respective capabilities, as well as reflecting on different social and economic conditions.</li> </ul>
	Appropriateness of means	<p>Relevance of Project design and approach as in order to solve the development issues effectively</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Relevance of contents, design and approach of the Project</li> <li>• Revise of the Project plan and verification of the achievement after the (appropriateness) revise of the Plan</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Detail planning study report</li> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> </ul>	<p>Documents review, Interviews, Questionnaires</p>	<p>*Under ‘East Asia Low Carbon Partnership’, NIES, JICA and IGES collaborate to support developing countries in order to prepare and implement low carbon and adaptable strategies, and it is designed of “East Asia Knowledge Platform for Low Carbon Growth.”</p> <p>*C/P requested the Project to share higher level and more specific knowledge such as AIM model, and to implement a capacity development workshop for Implementers in TGO and relative organizations in charge of inventory making.</p>
		<p>Relevance of selection of the target group</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Regarding the target group selection, verification of the achievement before and after revise the Project plan</li> </ul>			<p>*TGO is an autonomous government organization under the Ministry of Natural Resources and Environment with the specific purpose to act as an implementing agency on GHG emission in Thailand.</p> <p>*Phase I of the Project prepared training materials and curriculums on climate change mitigation collaboration with TGO.</p>
		<p>Advantage of</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Japanese technical experience,</li> </ul>			<p>*Strategic implementation of the Project is needed</p>

		Japanese technology	accumulation, application and transfer to Thailand			in order to discriminate from other rival training centers by collaboration with not only JICA expert team but also Japanese relative organizations.
	Others	Confirmation of Mutual effectiveness and demarcation with the collaboration with other donors, NGOs, JICA's Projects and the Thai project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Thai other efforts for climate change Projects implemented by other donors (such as USAID and GIZ) and NGOs</li> <li>• Relationship with JICA's other projects</li> <li>• Collaboration and progress of the Project with other donors and projects</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Detail planning study report</li> <li>• Annual plans/reports</li> <li>• Japanese experts ,C/P, other donors, NGO and JICA Thailand Office</li> <li>• Documents on JICA projects in Thailand</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<ul style="list-style-type: none"> <li>*USIAD supports e-learning on climate change for AIT?</li> <li>*GIZ supports transport sector for TGO.</li> </ul>
		Change of the environment surrounding the Project after starting the Project(system, policy, social and economic conditions)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Restructure of implementing Institutes</li> <li>• Status of the Project</li> <li>• Inauguration of similar projects by other donors and NGOs</li> <li>• Change of social economic conditions</li> </ul>			*Influences of instability of a political situation on the Project.
	Effectiveness	Prospect of achievement of the Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Verification of the achievements</li> <li>• Comments from Japanese experts and C/P</li> <li>• Number of C/P who participate the joint researches</li> <li>• Number of theses presented to academic conferences</li> <li>• Thai (central and local governments) and ASEAN countries' response and support system for the training programs</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Detail planning study report</li> <li>• Annual plans/reports, JCC reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> <li>• Results of verification of achievements</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires	<ul style="list-style-type: none"> <li>*Launching of CITC was announced at the ASEAN workshop in May 2014, and needs assessment was conducted in order to specify the needs of training on “Development of Low Carbon Society Development Course”.</li> <li>*The above ASEAN workshop was relatively favored according to the evaluation of participants. (In total 117 participants attended the workshop; the main participants were from ASEAN countries<sup>15</sup>, ASEAN Secretariat 2, TGO 2 and JICA expert team 9)</li> </ul>
		Hindering factors to achieve the Project Purpose				<ul style="list-style-type: none"> <li>*17 C/P names of C/P names are listed on the R/D of the Project.</li> <li>* At the inauguration time of the Project, 5 staff were allocated for the capacity</li> </ul>

						development/outreach office. However, 2 of them resigned the job and one staff took a maternity leave and only 2 staff remained at the office. Therefore, 2 staff were transferred from other office in TGO, and newly 2 staff were hired. After that, another staff left and one was reinstated in the office. Currently, in total 6 staff belong to the office.
	Quality of trainings	Obtaining good results from trainings				*Comparative capacity Analysis of capacity development/outreach office in TGO was conducted in August 2014. (Generally, the result showed the capacity of the office was improved)
	Relationship between Project Purpose and outputs	Contribution to achieve outputs by capacity improvement of C/P				
		Utilization of equipment	• Utilized equipment and frequency			
		Utilization of the new transferred techniques	• Researches and contents of technical transfer			*JICA expert team transferred basic knowledge and technologies of basic knowledge for contents management to TGO in order to establish a tentative portal site.
	Achievement of Outputs	Achievement of outputs. Contributing and hindering factors	• Verification of the achievements • Comments from Japanese experts and C/P	• Detail planning study report • Annual plans/reports, JCC reports • Japanese experts and C/P • Results of verification of achievements and analysis of implementation process	Documents review, Interviews, Questionnaires	
		Enough activities in order to achieve the outputs				
Efficiency	Input (quantity, quality and timing)	Dispatch of experts(number, expertise and	• List of experts • Stakeholders' comments	• Detail planning study report • Annual plans/reports, JCC reports	Documents review, Interviews, Questionnaires,	*1 long-term expert(17MM):Climate Change Policies/Human Resources Development *In total 9 short-term experts(36.5MM):

		timing		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Japanese experts and C/P</li> <li>• Subcontracted university</li> <li>• Analysis of achievement</li> </ul>	Observation	<p>1)Team Leader/ Climate Change Policy  2)Low Carbon Development 1  3)Low Carbon Development 2/Mitigation Measures 2 /Curriculum Development 3  4)GHG Inventory  5)Adaptation Measures/Mitigation Measures 1  6)Curriculum Development 1  7)Training Management 2/Curriculum Development 2  8)Administrator/Training Management 1  9)Business Plan  *In total THB 4,411,000 was spent by short-term experts.  -Training cost(including expected cost for training in December) ;THB745,600  -Training material development;THB667,000 (including local consultant cost THB 399,000)  -Workshop cost; THB 734,100  -Equipment for TGO: THB504,000  -Local cost (local staff, transportation and communication); THB 1,760,000  *Local consultant (The joint Graduate School of Energy and Environment, King Mongkut University of Technology Thonburi) was subcontracted for research and training material development for CITC training courses on low carbon society development topics for local government, including monitoring of mitigation actions and institutional management issues from May-December 2014. The cost was THB 399,000.  * Implementing of activities in Thailand and conducting an ASEAN workshop were delayed due to the breakup of anti-government demonstrations in November 2013. Also, dispatch of Japanese experts was suspended by continuation of the demonstrations in January 2014, so training materials were prepared in Japan.</p>
--	--	--------	--	---	-------------	--

		Procurement of equipment(types , quality quantity and timing)	<ul style="list-style-type: none"> <li>List of equipment</li> <li>Appropriateness of human resources for preparation of training materials(NIES and a university in Thailand)</li> <li>Operation and management of equipment</li> <li>Stakeholders' comments (The Project Manager of TGO)</li> </ul>			<p>*(Phase 1 of the Project prepared 14 sets of training materials. Those materials are utilized for this Project, then the contents are evaluated by the needs assessment.)</p> <p>*NIES has supported to prepare training materials on"Low Carbon Society Course".</p> <p>*Preparing training materials for "Low Carbon Society "was subcontracted to a University in Thailand.</p>
		Receiving trainees (number, name of training course, contents, duration and timing)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Achievement of receiving trainees</li> <li>Stakeholders' comments</li> <li>Subcontracted university's comments</li> <li>Training needs(Thailand and ASEAN countries)</li> <li>Appropriateness of training targets (common needs and theme)</li> <li>Reflection of IPCC's inventory guidelines(1995 or 2006) for 'GHG inventory management course'(for Thailand central/local governments and ASEAN countries)</li> </ul>			<p>*A demonstration training program on ("GHG Inventory Management Course for Central Government Technical Level" was conducted in August 2014. 32 participants attended the training program.</p> <p>* A train-the trainers program was conducted in August 2014, and 15 candidates of trainers participated the program.</p> <p>*A training program on "GHG Inventory Management Course for Central Government Officers" was conducted in September 2014.</p>
		C/P (number, allocation and capacity)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Allocation of C/P</li> <li>Stakeholders' comments</li> </ul>			<p>*17 C/P names are listed on the R/D of the Project.</p> <p>* At the inauguration time of the Project, 5 staff were allocated for the capacity development/outreach office. However, 2 of them resigned the job and one staff took a maternity leave and only 2 staff remained at the office. Therefore, 2 staff were transferred from other office in TGO, and newly 2 staff were hired. After that, another staff left and one was reinstated in the office. Currently, in total 6 staff belong to the office.</p>
		Building and facilities (size, quality, convenience)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Conditions of buildings, facilities and allocation of equipment</li> <li>Stakeholder's comments</li> </ul>			
		Project's budget	<ul style="list-style-type: none"> <li>Achievement of Local cost covered by Thai side</li> <li>Comments from stakeholders in</li> </ul>			

			charge of annual budget			
		C/P's improvement of capacity	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ratio of technology transferred C/P</li> <li>Japanese experts' comments</li> </ul>			*Comparative capacity Analysis of capacity development/outreach office in TGO was conducted in August 2014. (Generally, the result showed the capacity of the office was improved)
	Collaboration with other organizations	Collaboration with other donors, NGOs, JICA and private companies' projects	<ul style="list-style-type: none"> <li>Stakeholders' comments (donor, university)</li> <li>Other JICA's projects such as "Project of Capacity Development for Climate Change Strategies" in Indonesia,</li> <li>Collaboration with LoCARNet</li> <li>Collaboration with ASEAN</li> <li>Collaboration with local governments (e.g. Tokyo Metropolis, Yokohama City, and Kitakyushu City) in Japan</li> </ul>	C/P, Japanese experts, JICA Thailand Office (projects), other donors, NGOs, private companies	Interviews, Questionnaires,	<ul style="list-style-type: none"> <li>*February 2014, visited ASEAN secretariat office and Ministry of Environment in Indonesia.</li> <li>*February 2014, participated LCS-LoCARNet meeting in Cambodia.</li> <li>*April 2014, participated 5<sup>th</sup> ASEAN Climate Change working group meeting in Indonesia.</li> <li>*May 2014, organized an event for launching CITC and workshop for Low Carbon Society TNA of East Asia in Pataya, Thailand.</li> <li>*July 2014, attended 6<sup>th</sup> International Forum on Sustainable Asia and Pacific in Tokyo, Japan.</li> <li>*July 2014, visited Global Environment Department of Ministry of Environment in Tokyo, Japan.</li> <li>*August 2014, participated "12<sup>th</sup> Workshop on Greenhouse Gas Inventories in Asia" in Bangkok.</li> <li>*August 2014, participated workshop on Capacity Development for GHG inventory management in ASEAN in Bangkok.</li> <li>*August 2014, participated workshop on Climate Change Office network climate Finance in Bangkok.</li> <li>*Preparing training materials for "Low Carbon Society "was subcontracted to a University in Thailand.</li> </ul>
	Hindering factors		<ul style="list-style-type: none"> <li>Stakeholders' comments</li> </ul>	C/P, Japanese experts, JICA, JICA Thailand Office,	Documents review, Interviews, Questionnaires	<ul style="list-style-type: none"> <li>*Implementation of activities have been delayed due to the effects of anti-government demonstrations since November 2013.</li> <li>*The contents of activities have been required to amend from R/D and the Project implementation plan flexibly due to the change of important assumptions such as surrounding environment and needs of CITC, and also presence of rival</li> </ul>



						institutions.
Impact (Prospect)	Prospect of the Overall Goal	Prospect of emerging the Overall goal as impacts of the Project. Hindering factors for achievement of the Overall goal	<ul style="list-style-type: none"><li>• Prospect the achievement of the Overall goal by Ex-post evaluation study</li><li>• Existence of hindering factors</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Detail planning study report</li><li>• Annual plans/reports, JCC reports</li><li>• Japanese experts and C/P</li><li>• Stakeholders in target areas(local residents and so on)</li></ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires, Observation	
		Gap between the Project Purpose and the Overall goal	<ul style="list-style-type: none"><li>• Prospect of establishing necessary system for extension of experience and output of the Project in the targeted sectors(human resources, technique, system and budget)</li></ul>			
	Relationship between the Project Purpose and the Overall Goal	Effect of important assumptions to achievement of between the Project Purpose and the Overall goal	<ul style="list-style-type: none"><li>• Existence of important assumptions and relevance</li><li>• New important assumptions</li></ul>			
		Existence of new important assumptions				
		Other prospected positive and negative impacts	<ul style="list-style-type: none"><li>• Existence of impacts from the Project to policy making, law, system, standards</li></ul>			
	Ripple effects • sustainability of impacts	Other positive and negative impacts, which will be prospected to sustain the effects after termination of	<ul style="list-style-type: none"><li>• Impacts on Thailand (Central and Local governments) and ASEAN countries' institutions(policies, preparation for NAMA: National Appropriate Mitigation Action and JCM: Joint Crediting Mechanism) by capacity development from the Project</li><li>• Relationship with LoCARNet</li></ul>			*Presentation at LoCALNet Workshop?

		the Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Creation of business/jobs</li> </ul>			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• Impacts on dissemination of knowledge about climate change mitigation/ adaptation to the whole of Thailand and ASEAN countries.</li> </ul>			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• Results from analysis of the causal relationship</li> </ul>			
Sustainability (Prospect)	Policy and system	Priority of capacity development for Climate change in Thailand	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Plan of political support, law and regulation for biomass energy Support system for extension of practical use of outcomes of the Project to nationwide in Thailand and ASEAN countries</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Thai Policies, Budget of TGO</li> <li>• Detail planning study report</li> <li>• Annual plans/reports, JCC reports</li> <li>• Japanese experts and C/P</li> <li>• Stakeholders in target areas(local residents and so</li> <li>• Private companies</li> </ul>	Documents review, Interviews, Questionnaires, Observation	
	Technique	Establishment of technical transfer	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Transfer technologies and knowledge from the Project were established in TGO</li> </ul>			
		Maintenance and management of equipment	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Degree of utilization of equipment</li> <li>• Conditions of equipment maintenance and management</li> <li>• Staff allocation for equipment maintenance and management</li> </ul>			
		Mechanism for extension and application of outputs of the Project in the implementing Institutes	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Existence of mechanism of extension, influence and applying the outcomes of the Project to the whole nation of Thailand and ASEAN countries.</li> <li>• Practical application of outcomes of the Project by the private companies</li> </ul>			
	Organization	Organization's capacity to main the effect of the Project after termination of the Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Organization system, allocation of staff, process of decision making</li> </ul>			

		Budget allocation for development research and practical use of the outcomes of the Project	• Sustainability TGO business Plan (budget plan)			
		Establishment of ownership in implementing agency	• Implementation plan and monitoring system in Thailand			
	Environmental and social consideration	Environmental considerations	• Sustainable consideration for mitigation/adaptation against climate change			

## 質問票(日本側専門家)

1. これまでのところ、下記のプロジェクト目標の達成可能性をどのように評価されますか？

プロジェクト目標「タイ国内及び ASEAN 開発途上諸国のニーズの合致した研修プログラムが開発され、TGO の CITC のフォーカルポイントとしての能力が強化される」

指標：1. CITC のために研修管理、知的貢献、ロジスティクスシステムが構築される。

非常に低い      1      2      3      4      5      非常に高い

指標：2. 研修プログラム開発及び実施のために関係機関との協力が持続する。

非常に低い      1      2      3      4      5      非常に高い

また達成への貢献理由あるいは達成・目標に対しギャップを生じさせるであろう制約となった理由：

2. これまでのところ、各アウトプット（指標）に対する達成度についてはどのように評価されますか？

（非常に低い：1      2      3      4      5：非常に高いという区分での評価と問題点等）

2.1 アウトプット 1 「TGO と関係機関の協力を通じて CITC 設立準備がなされる」

指標：1-1 CITC の組織図、綱領、配分された予算が CITC の文書に記載される。

非常に低い：1      2      3      4      5：非常に高い

指標：1-2 ウェブサイトによる情報伝達するための知識のプラットフォームが確立される。

非常に低い：1      2      3      4      5：非常に高い

指標：1-3 開発されたカリキュラム（タイ語及び英語）が選択された研修コースについて作成される。

非常に低い：1      2      3      4      5：非常に高い

1) 現在までの経過、成果発現：

- 2) これまでの成果・達成に貢献した理由あるいは達成に対し計画に比較してギャップを生じさせる制約となった理由は何でしょうか？

## 2.2 アウトプット2「TGO とタイの関係機関によって緩和/適応に関する研修が実施される」

指標：2-1 選択されたコースのために指導員が育成される。

非常に低い：1    2    3    4    5：非常に高い

指標：2-2 少なくとも受講者の70%（80%の評価点で）が研修内容に満足する。

非常に低い：1    2    3    4    5：非常に高い

- 1) 現在までの経過、成果発現：

- 2) これまでの成果・達成に貢献した理由あるいは達成に対し計画に比較してギャップを生じさせる制約となった理由は何でしょうか？

## 2.3 アウトプット3「緩和/適応に関する研修プログラムが ASEAN 諸国の中で共有される」

指標：3-1 ASEAN 開発途上諸国向けに実施されたセミナー・ワークショップ・研修。

非常に低い：1    2    3    4    5：非常に高い

- 1) 現在までの経過、成果発現：

- 2) これまでの成果達成に貢献した理由あるいは達成に対し計画に比較してギャップを生じさせる制約となった理由は何でしょうか？

3. (プロジェクト開始当初から鑑みて) 中間レビューにあたり当初の計画・目標設定・投入はタイ国のニーズに適切なものであった、と思われますか。また当初の計画から目標、投入(活動、資機材、教材等の量や質)等について変更があれば、変更の内容・その理由と変更による効果、また結果として活動実施や成果達成にマイナスや支障となった要因があれば教えてください。

とても不適切      1      2      3      4      5      非常に適切

当初計画から目標、投入(活動内容、資機材、資金、専門家投入、等)等について変更があればその理由と変更による効果、あるいは活動実施にマイナスや支障となった要因

4. 中間レビューにあたり当初計画・目標設定・投入のタイミングや量についてこの後、変更や改善をすべき、と思われることはありますか。あれば何の改善が必要でしょうか(理由も)?
5. ご担当された活動で当初に想定した以外に成果や効果が得られた点(あれば)ご回答ください。
6. 日本側の組織体制・プロジェクト実施管理(専門家間の意思疎通、タイ側との意思疎通含む)についてはどうと思われますか?

不適切であった      1      2      3      4      5      非常に適切であった

活動実施、成果達成に貢献した理由あるいはギャップを生じさせた制約・課題となった理由:

7. 日本側の専門家派遣(専門分野、派遣・国内での研修・教材作成等のアサインメント期間・タイミング等)についてどうと思われますか?

不適切であった      1      2      3      4      5      非常に適切であった

活動実施、成果達成に貢献した理由あるいはギャップを生じさせた制約・課題となった理由:



8. タイ国側の組織体制・財政負担・プロジェクトの実施管理体制（意思疎通含む）についてどう思われますか？

不適切であった      1      2      3      4      5      非常に適切であった

活動実施、成果達成に貢献した理由あるいはギャップを生じさせた制約・課題となった理由：

9. タイ国側のカウンターパート（コメント等あれば C/P 対象を拡大してとらえて、研修カリキュラムや教材作成あるいは研修実施にかかる再委託業者・関係機関も含め）の配置人数、専門性、活動参加の度合い・熱心さ、タイ関係者の本邦派遣（第3国研修やセミナー参加も）の成果についてどう思われますか？

不適切であった      1      2      3      4      5      非常に適切であった

活動実施、成果達成に貢献した理由あるいはギャップを生じさせた制約・課題となった理由：

10. 他の組織（タイの研究機関、他の JICA プロジェクト、他のドナー及び民間機関、日本の地方自治体、LoCARNet、ASEAN 諸国等）との協力活動は行われましたか？

不活発であった      1      2      3      4      5      非常に活発であった

活動実施、成果達成に貢献した理由あるいはギャップを生じさせた制約・課題となった理由：

11. プロジェクトを通じてカウンターパートの能力（知識、研修管理技術等）は向上したと思われますか？

全く向上していない      1      2      3      4      5      非常に向上した

具体的な理由（習得した技術等）：

12. プロジェクトのインパクトとして、上位目標である「気候変動国際研修センター（CITC）がASEAN地域の気候変動研修に関しての研修センターとして認知され、

ネットワークの基盤（プラットフォーム）として機能する」が、2016年のプロジェクト終了後から5年以内に達成される可能性をどのように予測されますか？  
指標：ASEAN開発途上諸国のニーズに合致した地域研修セミナーがCITCによって持続的に実施される。

非常に低い：1      2      3      4      5：非常に高い

理由あるいは制約・課題と考えられる要因：

13. これまでに、プロジェクトによるタイ国内及び ASEAN 諸国への気候変動対策に関する政策的、制度的及び社会的な正負のインパクトは見られますか？ ある場合は具体例（緩和/適応の政策、NAMA、JCM、ビジネス/雇用創出等）を記載してください。

正のインパクト：

負のインパクト：

14. 本プロジェクトの成果（能力強化や CITC ビジネスプラン等）の継続や発展・実用化に向けて、タイ国側の政策的、組織的、財政的、技術的な持続性は高いと思われますか？

かなり低い      1      2      3      4      5      可能性は高い

理由あるいは制約・課題と考えられる要因：

15. 今後の展望：プロジェクトの後半期に特に日本側の機関が行うべきこと、あるいはタイ国側が行うべきことは何でしょうか？

16. これまでに活動を通じて得られたグッドプラクティスや将来の類似案件の計画立案や実施にむけて教訓あるいは反省点、と思われる点を記載して下さい。

17. その他コメントがありましたら記載して下さい。 \_

## Questionnaire to Counterparts in TGO

\*\*\*\*

0. Please state your roles, responsibilities and your activities in this Project, in short.

\*\*\*

1. How do you evaluate that expected achievement of the **Project Purpose: “Capacities of TGO as focal point of CITC are enhanced with programs in response to the needs of stakeholders in Thailand and ASEAN developing countries.”** so far?

**Indicator 1. Systems of training management, knowledge and logistics for CITC are established.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly achieved

**Indicator 2. Cooperation of related organization is sustained for development and implementation of training programs.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly achieved

Reasons:

If it is successful, what are success points, and what are contributing factors?

If not, what are constraints and challenges faced during the Project?

2. Do you think the objective of the Project is relevant to fill the needs of the Thai side?

Not relevant      1      2      3      4      5      Very relevant

Reasons:

If it is appropriate, what are success points, and what are contributing factors?

If not, what are constraints and challenges faced by the Project?

3. How do you evaluate about achievement based on the following indicators of each Output from 1 to 3? Please identify 1 to 5 ranks for each Output, and provide reasons for that.

**3-1-1 Output 1: “CITC is prepared for establishment through collaboration among TGO and relative organizations.”**

**Indicator: 1-1 Structure of the CITC, mission statement and budget are described in CITC document.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly Achieved

**Indicator: 1-2 Website-based knowledge platform of information dissemination is established.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly Achieved

**Indicator: 1-3 Training materials (textbooks in Thai and English) are prepared for selected training courses.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly Achieved

3-1-2 Reasons for the assessment above:

**3-2-1 Output 2: “Trainings of Mitigation/Adaptation are conducted by TGO and Thai stakeholders.”**

**Indicator: 2-1 Trainers are developed for selected courses.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly Achieved

**Indicator: 2-2 At least 70% of trainees are satisfied (80% evaluation score) about course contents.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly Achieved

3-2-2 Reasons for the assessment above:

**3-3-1 Output 3: “Capacity development program on Mitigation/Adaptation are shared among ASEAN countries.”**

**Indicator: 3-1 Seminar/workshop/training is conducted for ASEAN developing countries.**

Not achieved      1      2      3      4      5      Highly Achieved

3-3-2 Reasons for the assessment above:

4. Do you think timing, quantity, quality (e.g. contents of training materials) of inputs from the Japanese side (supplies of finance, equipment, deployment and expertise of the Japanese experts/researchers etc.) are appropriate/responding needs of Thai side?

Not appropriate      1      2      3      4      5      Very appropriate

Reasons:

If it is effective what are good points?

If not, what are weakness and deficiency you identified?

5. How do you evaluate the Project management, approaches and communication to carry out the Project by the Japanese side?

Not appropriate      1      2      3      4      5      Very appropriate

Reasons:

If it is successful/appropriate what are good points?

If not, what are constraints and challenges faced by the Project?

6. Please evaluate the efficiency of the Project

- 6-1. How do you assess institutional set-up and management, assignment of experts/technical personnel, communication, inputs (such as cost coverage and provision of equipment, and other arrangements etc.) by the Thai side?

Not relevant/effective      1      2      3      4      5      Highly relevant/very effective

Reasons:

If it is successful/appropriate what are good points?

If not, what are constraints and challenges?

- 6-2. How do you evaluate involvement of the Thai counterpart/technical personnel onto the Project activities? Do you think your involvement of the Project activities is active, and in a satisfied level to carry out planned activities and to realize Outputs?

Not active/effective      1      2      3      4      5      Highly active/effective

Reasons:

If it is successful/appropriate what are good points?

If not, what are constraints and challenges?

- 6-3 How do you evaluate the collaboration with other organizations (e.g. other National research institutions, other JICA's projects, other donors and private companies, Japanese local governments, ASEAN countries, LoCANet and so on)?

Not active/effective      1      2      3      4      5      Highly active/effective

Reasons:

If it is successful/appropriate what are good points?

If not, what are constraints and challenges?

7. How do you evaluate about your capacity development (e.g. training management skills,

technologies, knowledge and so on) through the Project?

Not developed      1      2      3      4      5      Highly developed

Reasons:

If it is developed, please describe the examples.

If not, what are constraints and challenges?

8. As one of the impacts of the Project, how do you prospect the probability to achieve the Project's Overall Goal: **"The Climate Change International Technical and Training Center (CITC) is acknowledged as a training center of climate change in the ASEAN region and function as networking platform."** within five years after the termination of the Project in 2016?

**Indicator: Regional trainings and seminars responding to the needs of ASEAN developing countries are sustainably conducted by the CITC**

Not probable      1      2      3      4      5      Highly probable

Reasons:

If it is successful, what are success points, and what are contributing factors?

If not, what are constraints and challenges faced during the Project?

9. Have you found any positive/negative impacts (e.g. institutional, political and social) from the Project to the central and local governments of Thailand and ASEAN countries so far (e.g. Mitigation/ Adaptation policies, NAMA: National Appropriate Mitigation Action, JCM: Joint Crediting Mechanism, business/job creation and so on)?

Yes

No

If yes, please describe the examples.

1) Positive impacts

2) Negative impacts

10. How do you prospect/foresee on "Sustainability(from political, financial, institutional and technical aspects)" in order to keep and develop the achievements (such as capacity development, the Business Plan of CITC and so on) by the Project, by the Thai side after finishing the Project in 2016?

Low sustainability      1      2      3      4      5      High sustainability

Reasons:



What are positive factors to sustain the achievement of the Project? To sustain the achievement and further development, what measures/efforts or conditions shall be taken by the Thai side?

If you see limitations or constraints on future sustainability, what are limitations/constraints you find?

11. Do you find/suggest any changes/improvement of plans (after the Mid-term review) and ways to carry out the activities or in order to produce planned Outputs of the Project?

12. What are difficulties experienced during the Project implementation? If you found difficulties/limitations what are suggestions to improve?

13. Other comments:

\*\*\*\* Thank you very much for your cooperation again. Your opinion will be reflected to the evaluation.

